保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	CPRM対応DVDプレーヤー			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	DVD-368Z	品　番	07-8368	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前(ふりがな)　　様 ★ご住所　〒　　ー 電話　　( )			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

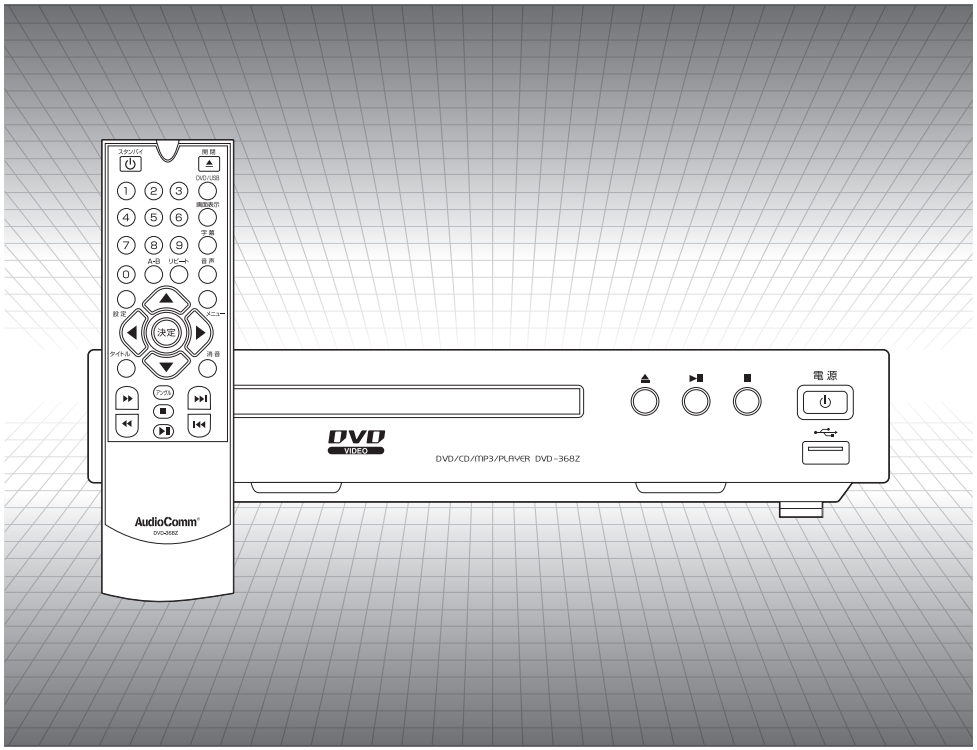
07-8368A

AudioComm®

取扱説明書 保証書付

CPRM対応DVDプレーヤー

型番：DVD-368Z
品番：07-8368



このたびは、AudioComm® CPRM対応DVDプレーヤーを
お買い上げいただき
誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

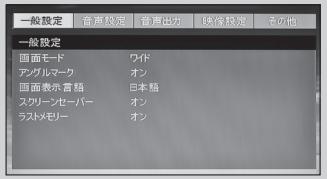
本製品及びこの取扱説明書をご利用いただくにあたって以下のことをご理解ください。

免責事項　**下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。**

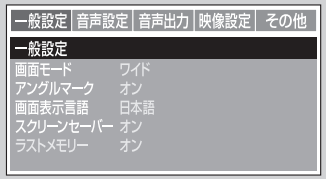
- ●弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
- ●取扱説明書（本書）を守らないことによって生じた破損、故障、その他の損害
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常
- ●落下、衝撃、圧力、負荷などの外的要因や火災、地震、落雷、風水害などの自然災害、消耗・劣化による本製品の故障
- ●関連装置との互換性や、記憶媒体・データの状態によって生じた本製品の利用機会の損失

本書で使用している画面表示の図版について

画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異っております。あらかじめご了承ください。



実際の画面例



この取扱説明書での表示例

DVDの規格について

本取扱説明書はDVDの基本的な説明をしています。DVDは規格によって生産、販売されており、使い方を間違えると操作に反応しないことがあります。使い方を間違えないよう本書をよく読んでいただくことが重要です。再生中、操作ボタンを押すと、🚫のマークが表示されることがあります。そのようなとき、その操作は本機またはDVDディスクによって無効を意味しています。

無効マーク

- ●ボタンを押し、無効マークが出たら、その画面での操作は無効です。画面が変わってから再度操作してください。
- ●DVD以外のディスクでは操作に制限があります。

著作権について

放送やレコードその他の録画・録音物（DVD、ビデオ、ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど）の作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

磁気や電磁障害について

磁気の影響を避けるため、磁石や磁石を使用した機器を本製品に近づけないでください。また、電磁波の影響を避けるため、携帯電話や電磁波を発生する機器を本製品に近づけないでください。磁気や電磁障害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

もくじ

ご注意
安全にお使いいただくために …… 3

はじめに
付属品をご確認ください …… 6
電源について …… 6
ご使用前の注意 …… 6
ご使用になれるメディアについて …… 7
各部の名称 …… 10
リモコンの使い方 …… 12

接　続
テレビとの接続方法 …… 13
オーディオ機器との接続方法 …… 14

映像を観る
映像再生時の基本操作 …… 15
早送り・早戻し …… 17
スキップ（⏭／⏮） …… 17
消音 …… 17
リピート …… 17
A-Bリピート …… 18
音声 …… 18
字幕 …… 18
タイトル …… 19
メニュー …… 19
アングル …… 19
画面表示 …… 19

音楽／音声を聴く
音楽／音声再生時の基本操作 …… 20
早送り・早戻し …… 23
スキップ（⏭／⏮） …… 23
消音 …… 23
リピート …… 24
A-Bリピート …… 24
画面表示 …… 24

画像を見る
画像再生時の基本操作 …… 25

設　定
セットアップメニューの概要 …… 28
画面モードの設定方法 …… 30
アングルマークの設定方法 …… 31
画面表示言語の設定方法 …… 31
スクリーンセーバーの設定方法 …… 32
ラストメモリー（レジューム機能）の設定方法 …… 32
スピーカー設定の操作方法 …… 33
デュアルモノの設定方法 …… 33
ダイナミックレンジの設定方法 …… 34
シャープネスの設定方法 …… 34
明るさの設定方法 …… 35
コントラストの設定方法 …… 35
テレビ信号方式の表示方法 …… 36
音声設定の操作方法 …… 36
字幕言語の設定方法 …… 37
メニュー言語の設定方法 …… 37
視聴制限の設定方法 …… 38
パスワードの設定方法 …… 39
初期化の設定方法 …… 40

リファレンス
故障かなと思ったら …… 41
用語解説 …… 44
主な仕様 …… 45
お手入れのしかた …… 45
よくあるご質問 …… 46
保証書とアフターサービスについて …… 46

保証書

安全にお使いいただくために

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって二段階に表示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、物的損害を受けたりする可能性があることを示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です）。

△記号は、注意(危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです（左図の場合は感電注意が描かれています）。	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止が描かれています）。	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています）。

⚠ 警告

強 制

日本の家庭用電源で使う
電源コードのプラグは、家庭用コンセント(AC 100V 50 ／ 60Hz)につないでください。海外などの異なる電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

禁 止

電源コードやプラグを傷つけない
電源コードやプラグの損傷による火災や感電を防ぐため、次のことをお守りください。
・電源コードやプラグを加工したり、傷つけたりしない。
・無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、引っ張ったり、挟んだり、束ねたりしない。
・電源コードの表面のビニールを熱器具に近づけたり、加熱しない。
・電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜く。

禁 止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因となることがあります。

強 制

電源プラグは定期的に掃除、点検する
電源プラグは差したままにせず、定期的に点検し、付着したホコリや汚れなどを拭き取ってください。汚れにより発熱し、火災の原因となることがあります。

禁 止

業務用途には使わない
過負荷による故障の原因となり、火災や感電のおそれがあります。

分解禁止

本体を修理、改造しない
火災、感電の原因となります。

⚠ 警告

プラグを抜く

電源コードが傷んだときは、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁 止

この機器を使用できるのは日本国内のみです。
自動車、船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。

水かけ禁止

本機内部に異物や水分を入れない
金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると感電や火災の原因となります。
・ディスクトレイなどから金属や燃えやすいものを内部に差し込んだり落とし込んだりしない。
・本機の上に水の入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）や小さな金属類（クリップや針、コイン、安全ピンやヘアピンなど）を置かない。
・水がかかるような場所（風呂場、台所・洗面所など）では使用しない。特に窓際で使用する場合、雨天時や降雪時または結露などに注意する。

感電に注意

雷が鳴りだしたら、電源コードやプラグに触れない
感電の原因となります。

強 制

次のような症状が見つかったら
・異常な音やにおいがする、煙が出ている。
・内部に水や異物が入った。
・本機を落とした、本機の一部を破損した。
・正常に動作しない。
・電源コードやプラグに傷がある。

➡ **電源を切り、電源コードを家庭用コンセントから抜き、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに修理をご依頼ください。**

プラグを抜く

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

禁 止

雨天時や降雪時の屋外、海岸、水辺など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない
火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

内部に水や異物などが入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁 止

車の中で使わない
本機は車載用ではありませんので、車の中では使用しないでください。また、自動車内に放置しないでください。車載で使用した場合、車特有のノイズを拾い、音声や画像が乱れます。窓を閉め切った自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故のおそれがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。市販されている電源コンバーターなどを使って本機を使用しないでください。

禁 止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところにおかない
感電やケガの原因となることがあります。

⚠ 注意

禁止

安定した風通しの良い場所に置く

置き場所や置き方が悪いと、落下によるけが、内部温度の上昇による発火やけが、感電の原因となることがあります。

・ぐらつく台や傾いた台、毛足の長い絨毯や布団などの不安定なところに置かない。
・湿気やほこりの多い場所、湿気や油煙が当たるところに置かない。
・暖房器具のそばや、直射日光が当たる場所など、高温になるところに置かない。
・布をかけたり、密閉したラックなどの中に入れない。
・振動の強い場所に置かない。
・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所に置かない。
・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所に置かない。

プラグを抜く

安全のため家庭用コンセントより電源コードのプラグを抜く

旅行などでしばらく使わない場合やお手入れをする場合、本機を移動させる場合は火災や感電の思わぬ事故を防ぐため、電源コードのプラグを抜いてください。

禁止

温度が高くなる場所に放置しない

暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

強制

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電の危険や加熱などにより火災の原因となります。

禁止

ディスク挿入口に手を入れない

けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

本機の上に重いものを置かない、乗らない

倒れたり壊れたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

異物を入れたり、差し込まない

各端子の接続部などに異物を入れたり、差し込まないでください。故障の原因となります。

禁止

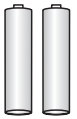
ディスク再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を動かすと、中のディスクを傷つけたり、破損するおそれがあります。

付属品をご確認ください

リモコン　1個

DVDプレーヤー(本機)1台



リモコン用単4形乾電池
(動作確認用)　2本

AV接続コード　1個

取扱説明書　1冊

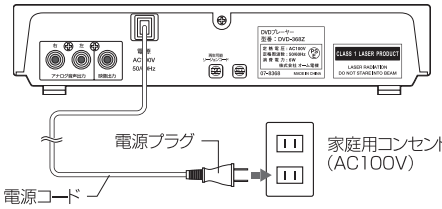
※改造に関するご質問には、お客様の安全のため回答できませんのでご了承ください。

電源について

必ず家庭用電源でご使用ください

●電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。
●本機を長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。

⚠ 電源プラグを抜き差しするときは、必ず本体の電源を切ってから行ってください



ご使用前の注意

◇本機は、停止状態が約３分間続くと、自動的にスクリーンセーバーモードになります。その後、さらに10分経つとスタンバイ状態になります。

◇本機にディスクをセットすると自動的に読み込みを開始し、画面にタイトルなどが表示されます。自動再生せずに静止画を表示し続けると、CRTモニターが画像焼けを起こし、ダメージとなることがありますので、再生／一時停止ボタンを押して画像を動画にしてください。静止画状態の場合、自動的に約３分でスクリーンセーバーモードに入ります（セットアップメニューの画面を除く）。

◇音量調整は接続機器で調整してください。

◇DVDではチャプターとチャプターの間、CDでは曲と曲の間に、映像や音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。

◇本取扱説明書内の本機画面のイラスト（マークや文字、それらの表示位置、内容など）が、再生するディスクによって一部異なる場合があります。

◇キズ、汚れ、ディスク作成時の状態などによって、ディスクが正しく読み込めない場合があります。その場合は「不明ディスク」などと画面に表示され、ディスクの読み込みは自動的に停止されます。

ご使用になれるメディアについて

再生可能ディスク

本機で再生可能なディスクは以下の通りです。

ディスクタイプとマーク	記録内容	ディスクサイズ
DVD-Video DVD±R/RW	映像＋音声 （主に映画）	12cm
AUDIO CD CD-R/RW	音声（音楽） WMA/MP3	12cm 8cm （シングルCD）
	画像 JPEG	

※本機で再生可能なディスクは、直径12cmのDVDと直径8／12cmのオーディオCD、MP3またはJPEGデータを記録したCD-R/RWのみです。これらのディスク以外は再生できません。
※お客様が作成したディスクは、書き込みスピード、書き込みソフト、編集方法、メディアの質などにより、再生できない場合があります。

本機ではCPRM対応のDVD-R、DVD-RWディスクを再生することができます。

※読み込みの時間が約30秒かかります。

CPRMとは？

・CPRMとは、コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。
デジタル放送は著作権保護のためにコピー制限（例：「ダビング10」=録画した番組を、他のデジタル機器に9回までコピー（ダビング）することが可能で、10回目はムーブ※（移動）のみ可能。すべての番組がダビング10で放送されているわけではありません）があります。DVDに番組を記録する場合は、CPRMに対応しているDVDレコーダー（HDD搭載モデルを含む）とCPRMに対応したDVDメディアを使うことで初めてコピー制限のある放送をDVDメディアに録画することができるようになります。
また、再生機器もCPRMに対応している必要があり、CPRM対応DVDメディアに記録した映像を他のDVDプレーヤーで再生する場合は、CPRM対応製品である必要があります。本機はCPRM対応製品です。
※他のデジタル機器やメディアにコピーすると、元映像が消去され、画像が移動したかのように見えるので、これを「ムーブ」と呼んでいます。

コピー制限の著作権保護がかけられたデジタル放送は、VRモードでしかメディアに記録できません。

ビデオモード、VRモードとは？

ビデオモード、VRモードとは、ともにDVDディスクの記録方式のことで、次の違いがあります。

ビデオモード	市販の映画ソフトなどの「DVDビデオ」に似た記録方式で、いろいろなDVD機器で再生することを目的としたモードです（互換性=高）。
VRモード	ビデオレコーディングモードの略で主にディスク内で編集するためのモードです。

DVDにおいてはCPRMへの対応はVRモードしか認められていないため、結果的にCPRMに対応しているDVDメディアは必ずVRモードにも対応していることになります。

●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク（CD）規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証はいたしかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお、「コピーコントロールCD」の詳細については、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

コピーコントロールCD

●本機はDVDビデオフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。

DVD VIDEO マークはDVDビデオディスクの統一マークです。

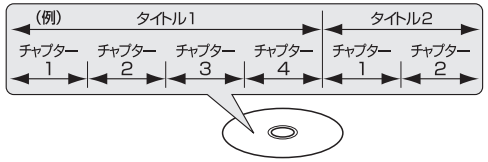
COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークは音楽用CDの統一マークです。

DVDは商標です。

ディスクの構成について

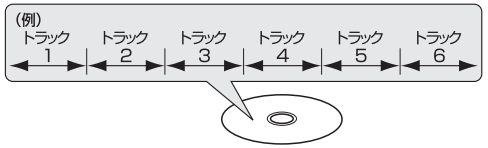
DVD

DVDビデオディスクは「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。
・「タイトル」とは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとを指します。
・「チャプター」とは、タイトルをさらに細かく分けたものです。



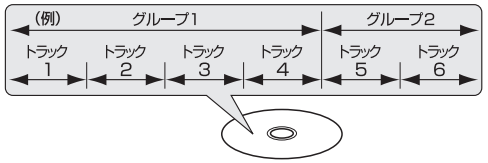
音楽用CD

音楽用CDは、「トラック」で区切られて構成されています。
・「トラック（ファイル）」とは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとを指します。



CD-R/CD-RW（JPEGファイル形式）

JPEGファイル形式のデータは「グループ（フォルダ）」と「トラック（ファイル）」に区切られて構成されています。
・「トラック（ファイル）」とは、例えば複数の写真を収めたCD内の、一枚一枚の写真を指します。
・「グループ（フォルダ）」とは、いくつかのトラック（ファイル）をまとめたものを指します。



リージョンコード（国番号）について

本機のリージョンコードは「2」です。この番号は日本を含めたヨーロッパ、南アフリカに割り当てられた番号で、DVDディスクの規格です。ディスクをお買い上げの際は、このリージョンコードを確認してください。
「ALL」と「2」（または「2」を含むもの）が表示されたディスクの再生が可能です。

（例）

このマークはDVDビデオディスクまたはパッケージに印刷されています。

再生できないディスク

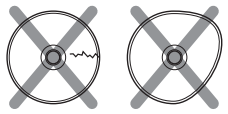
下記のディスクは再生できません。

- ●リージョンコードが「2」「ALL」以外のDVD
- ●DVD-ROM
- ●CD-ROM
- ●Video-CD
- ●DVD-RAM
- ●DVD-Audio
- ●PD
- ●BD（ブルーレイディスク）
- ●HD DVD
- ●CD-I
- ●CVD
- ●CD-G（CDグラフィクス）
- ●SACD（ハイブリッドディスクで通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することができません）
- ●特殊な形状のディスク（ハート形など：故障の原因となります）

※8cmアダプター（音楽用CD用）は使わないでください。故障の原因となります。
※記録領域が少ないディスク（直径55mm以下）は再生できない場合があります。
※ファイナライズ済みのCD-R、CD-RWディスクの再生は可能ですが、書き込みスピード、書き込みソフト、メディアの質などにより読み込めないことがあります。必ずCD-DA規格で、そしてMP3、JPEGのいずれかのフォーマットで書き込んでください。
※ファイナライズ済みのDVD-R／DVD+R／DVD-RW／DVD+RWディスクの再生は、一般的な範囲で使用可能です。書き込みソフト、編集方法、メディアの質などによりさらに再生の確率が低下することがあります。必ずDVD VIDEO規格で書き込みファイナライズ処理を行ってください。
※DTS（Digital Theater Systems）でのみ録音されているディスクは再生できません。

ご注意 ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。

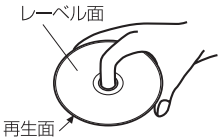
ディスク使用上での注意



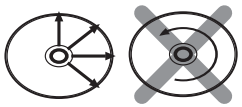
ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。
再生中、ディスクはプレイヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

ディスク取扱い上の注意

●再生面に触れないように持ってください。

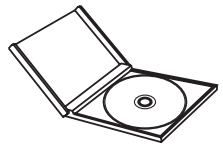


●ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。



●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

●長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



ご使用になれるメディアについて（つづき）

USBフラッシュメモリーについて

本機ではUSB2.0までのUSBフラッシュメモリー（最大容量32GB）に収録された音声や映像、静止画を再生できます（フォーマット：FAT、FAT16、FAT32対応）。ただし、1つのデータは最大1GBまで。
※本機のUSB端子はUSBフラッシュメモリー専用です。それ以外のUSB機器を接続すると、機器の故障やデータを損失する場合がありますので、絶対に接続しないでください。

USBフラッシュメモリー使用上での注意点

- ●データ消失を防ぐため、ご使用の前にUSBフラッシュメモリー内のデータを他のメディアにバックアップしてください（弊社ではメディアの破損、データの消失などに関して一切の責任を負いません）。
- ●USBフラッシュメモリーを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切った上で行ってください。
- ●USBフラッシュメモリーを装着する際は、表裏を十分確認の上、正しい向きで差し込んでください。
- ●USBフラッシュメモリーを取り外すときは、差し込んだ方向と逆の向きに引き抜いてください。
- ●装着・取り外し時に無理な力を加えると、USBフラッシュメモリーや本機を破損するおそれがありますので十分ご注意ください。

ファイル形式などに関する制限事項

【共通事項】

- ●多くの階層を持つメディアは再生が始まるまでに時間がかかります。読み込みを早くするには、以下を参考にしてください。
  - ・メディア内の階層は8階層までにする。
  - ・メディア内のファイル数は50000以下にする
  - ・メディア内のフォルダー数は64以下にする
- ●ファイル名が長いとすべてを表示できない場合があります。

【映像ファイルについて】

- ●最大解像度：720（横）×480（高さ）ピクセル
- ●ファイル形式：MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4
- ●DVD-R/RW、CD-R/RWディスクフォーマット：ISO9660+JOLIET、UDF、UDFBridge
- ●MPEG-4形式の映像ファイルでも、ファイルによって再生できない場合があります。また、以下の場合も再生できない場合があります。
  - ・2つ以上のファイルを結合した映像ファイル
  - ・最大解像度を超える大きさの映像ファイル
  - ・1GB以上の映像ファイル
  - ・3時間以上の映像ファイル
- ●データCD上の高ビットレートの映像ファイルは滑らかに再生できない場合があります。データDVDの使用をおすすめします。
- ●映像ファイルによっては、映像が乱れたり、音飛びがするなど、滑らかに再生できないことがあります。そのようなときは低いビットレートでファイルを作成することをおすすめします。それでも音声が乱れる場合は音声形式が適切であるか確認してください（MPEG-4ビデオ形式の場合はAAC LC形式）。
- ●USB1.1/1.0のUSBフラッシュメモリーに記録された映像ファイルは正常に再生されない場合があります。DVD、またはUSB2.0のUSBフラッシュメモリーでのご利用をおすすめします。
- ●MPEG-4 AVCの映像ファイルは再生できません。
- ●GMC（Global Motion Compensation）やQpel（Quarter pixel）で記録された映像ファイルの再生は保証しておりません。

【MP3、WMAオーディオファイルについて】

- ●ファイル形式：.wma、.mp3
- ●サンプリング周波数：8～48kHz（WMA）
  20～20kHz（MP3）
- ●ビットレート：8～320kbps（WMA／MP3）
- ●DVD-R/RW、CD-R/RWディスクフォーマット：ISO9660+JOLIET、UDF、UDFBridge
- ●コピープロテクト（DRM）のあるファイルは再生できない場合があります。
- ●WMA及びAACオーディオフォーマットは再生できない場合があります。

【静止画像ファイルについて】

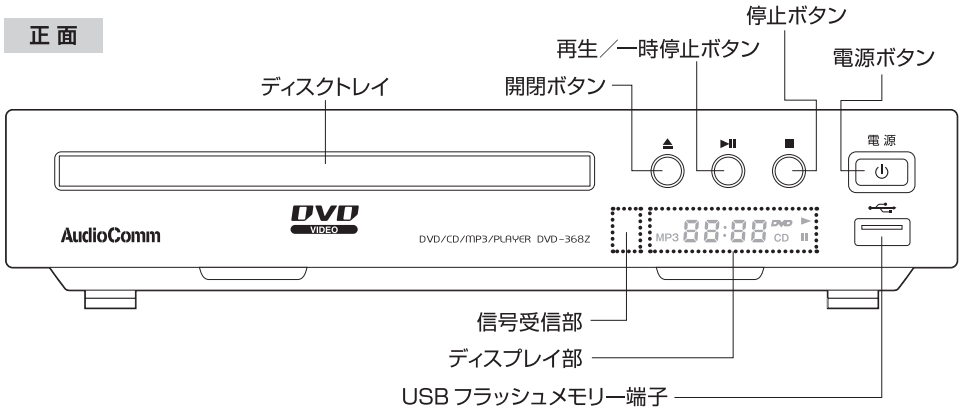
- ●ファイル形式：.jpg、.jpeg
- ●推奨サイズ：4000×3000×24ビット／ピクセル以下
- ●DVD-R/RW、CD-R/RWディスクフォーマット：ISO9660+JOLIET、UDF、UDFBridge
- ●プログレッシブ、ロスレス圧縮した画像ファイルはサポートしておりません。
- ●JPEG画像ファイルによっては、再生できない場合があります。

CD-R/RWやUSBフラッシュメモリー内のフォルダーに収められたファイルについて

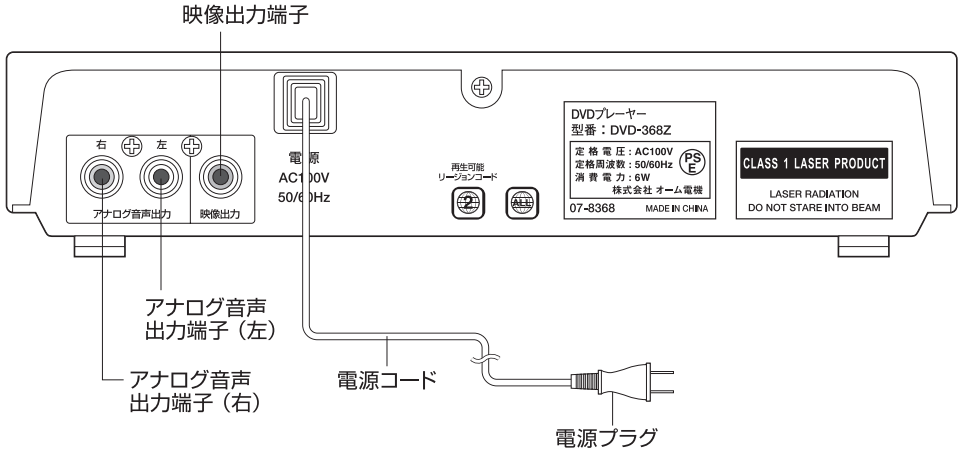
本機ではフォルダーを認識しません。全ファイルを並列的にリスト化します。

各部の名称

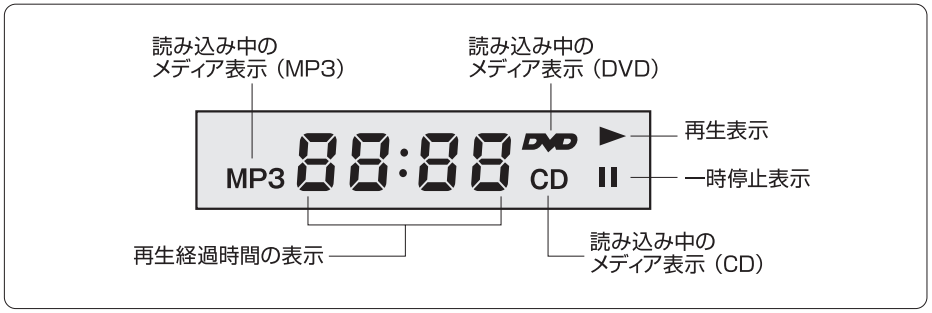
正面



背面



ディスプレイの表示 ※ディスプレイは電源が入っていないときは見えません。

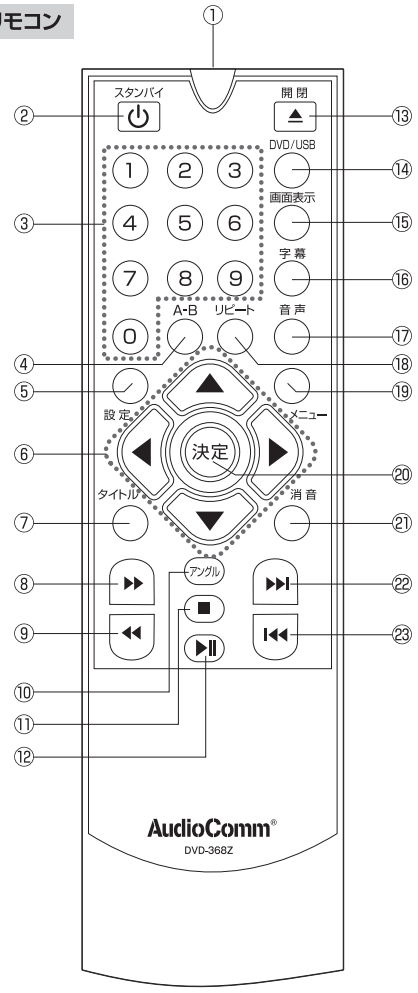


ご注意 再生時の経過時間は「59：59」まで表示され、1時間を超えると「00：00」に戻ってカウントされます。1時間を超える「時」は表示されません。

次ページに続く

各部の名称（つづき）

リモコン



①信号送信部
この部分を本機の信号受信部に向けて操作してください。

②スタンバイボタン
電源の入／切を行います。

③数字ボタン
数字を入力するときに使います。

④A-Bボタン
任意の２点間を指定して繰り返し再生します。

⑤設定ボタン
セットアップメニューを表示します。

⑥カーソルボタン（▲／▼／▶／◀）
画面に表示されている項目を選択する場合など、カーソルを移動させるときに使います。

⑦タイトルボタン
タイトルメニューを表示します（対応ディスクのみ）。

⑧早送りボタン
早送りをします。押すたびに早送りのスピードが変わります（最大32倍まで）。

⑨早戻しボタン
早戻しをします。押すたびに早戻しのスピードが変わります（最大32倍まで）。

⑩アングルボタン
アングルを切り換えます（対応ディスクのみ）。

⑪停止ボタン
再生を中止します。

⑫再生／一時停止ボタン
再生を開始します。再生中に押すと、一時停止になり、もう一度押すと再生を再開します。

⑬開閉ボタン
ディスクトレイを開閉します。

⑭DVD／USB切換ボタン
再生するメディア（DVDまたはUSBフラッシュメモリー）を切り換えます。

⑮画面表示ボタン
再生しているディスクの情報を表示します。表示内容はディスクにより異なります。

⑯字幕ボタン
字幕を切り換えます（対応ディスクのみ）。

⑰音声ボタン
お好みの音声言語を選択します（対応ディスクのみ）。

⑱リピートボタン
繰り返し再生をします。

⑲メニューボタン
タイトルメニューを表示します（対応ディスクのみ）。

⑳決定ボタン
選択を確定させるときに押します。

㉑消音ボタン
一時的に音声を消します。もう一度押すと元に戻ります。

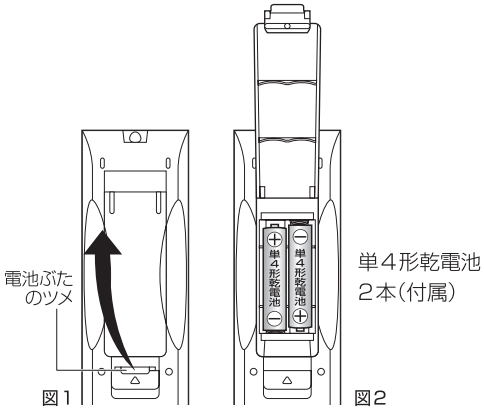
㉒スキップボタン（⏭）
再生中または一時停止中に押すと、次のチャプター（トラック）にジャンプして再生を始めます。

㉓スキップボタン（⏮）
再生中または一時停止中に押すと、一つ前のチャプター（トラック）に戻って再生を始めます。

リモコンの使い方

リモコンに電池を入れる

1.リモコン背面の電池ぶたを開けます（ふた下部のツメを外して引き上げ、ふたを開けます）。
2.付属の単４形乾電池を極性（⊕⊖）に注意しながら図２のように２本続けて入れます。
3.電池ぶたを元通りにしっかりと閉めます。



乾電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、やけどや大けが、失明の原因になります。

⚠ 警告

●乾電池が液漏れしたとき
万一液が漏れたら、液をよく拭き取る。液が皮膚や衣服に付着した場合は、多量の水で洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
●機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れてください。
●充電しないでください。
●火の中に入れないでください。
●ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
●火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
●水などで濡らさないでください。風呂場などの湿気の多いところで使わないでください。

⚠ 注意

●使いきった乾電池は取り外してください。また長時間使用しないときも乾電池を取り外してください。
●新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使わないでください。
●乾電池を携帯、保管するときは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒にしないでください。ショートしたり、液漏れして損傷する原因となります。

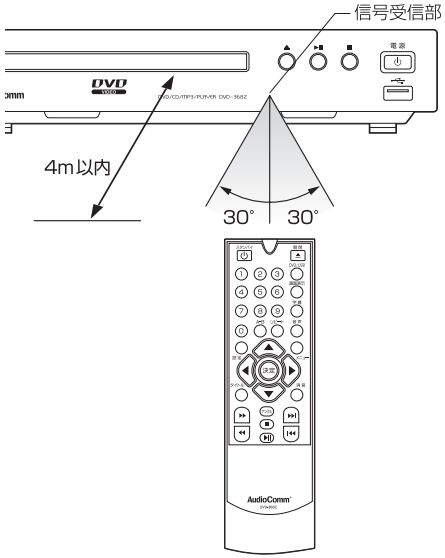
使用済みの乾電池は、各自治体の条例に従って廃棄してください。

リモコンによる操作

・リモコンの信号送信部を本機の信号受信部（ディスプレイの中に内蔵されています）に向けて操作してください。
・使用範囲は、本機の信号受信部から上下左右30度以内、4m以内です。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなったり、使用範囲がさらに狭くなることがあります。
・直射日光が当たる場所での使用は避けてください。誤作動したり、操作できなくなることがあります。

ご注意

リモコンは暖房器具や調理器具の付近、夏場の窓際、車内など、高温になる場所や直射日光の当たる場所に置かないでください。変形、動作不良、故障の原因になります。
※他社製品を動作／作用させる可能性がありますのでご注意ください。



テレビとの接続方法

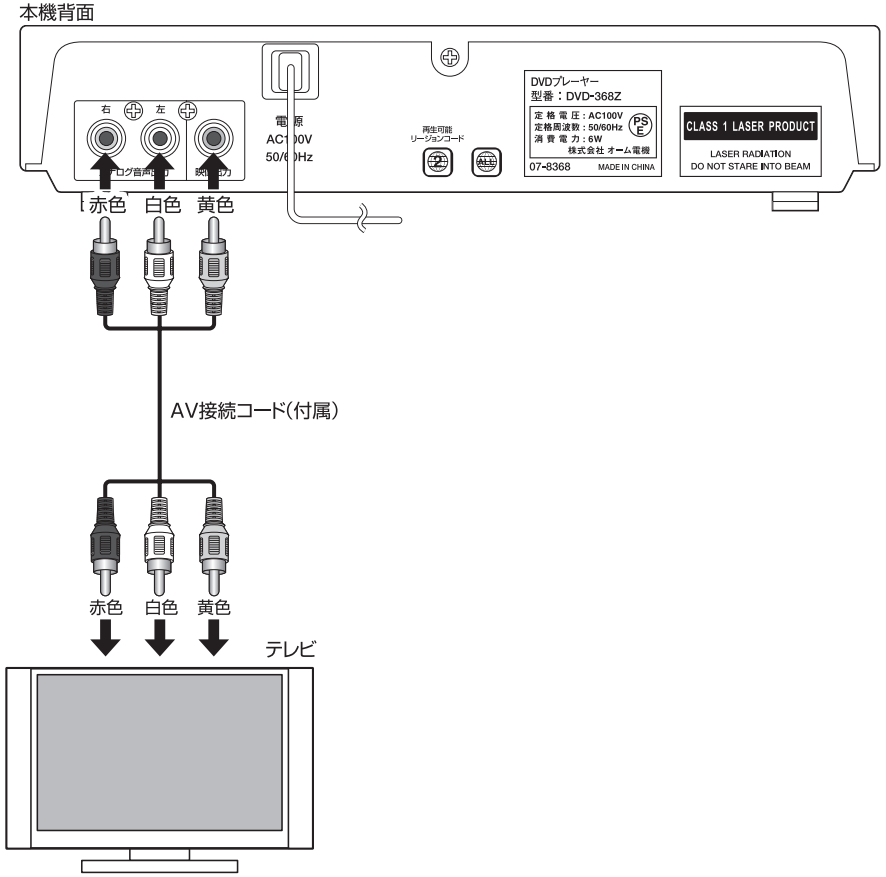
ご注意

- ●接続するときは、必ずそれぞれの機器の電源を切って行ってください。
- ●接続する外部機器の電源は別途配線してください。
- ●使用するときは、必ず外部機器の電源を先に入れてください。
- ●接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく接続してください。

AV接続コード(付属)で接続する場合

付属のAV接続コードを使って、本機背面のアナログ音声出力端子及び映像出力端子と、テレビ側のビデオ入力端子を接続します。

①白色のプラグを、本機、テレビ双方の音声左用端子(白色の端子)に接続してください。
②赤色のプラグを、本機、テレビ双方の音声右用端子(赤色の端子)に接続してください。
③黄色のプラグを、本機、テレビ双方の映像用端子(黄色の端子)に接続してください。



オーディオ機器との接続方法

映像をテレビ(モニター)で映し、音声をオーディオ機器で聴く場合

【音声に関する接続】

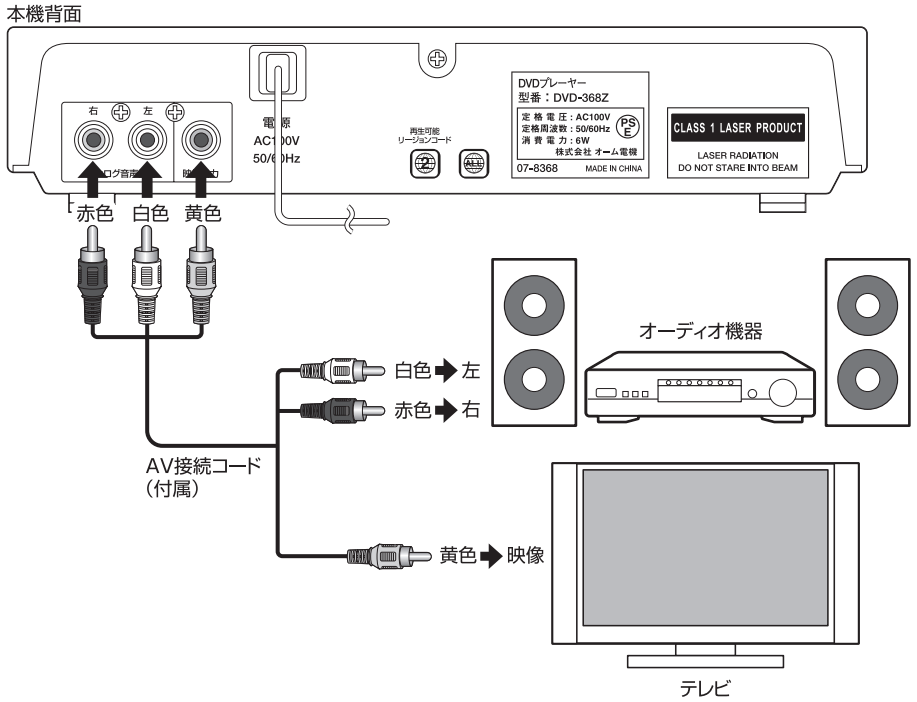
2チャンネルのオーディオ機器で聴く場合

付属のAV接続コードを使って、本機背面のアナログ音声出力端子とオーディオ機器の音声入力端子を接続します。

①白色のプラグを、本機、オーディオ機器双方の音声左用端子(白色の端子)に接続してください。
②赤色のプラグを、本機、オーディオ機器双方の音声右用端子(赤色の端子)に接続してください。

【映像に関する接続】

③付属のAV接続コードにある黄色のプラグを、本機の映像出力端子(黄色の端子)と、テレビまたはモニターの映像入力端子(黄色の端子)にそれぞれ接続してください。

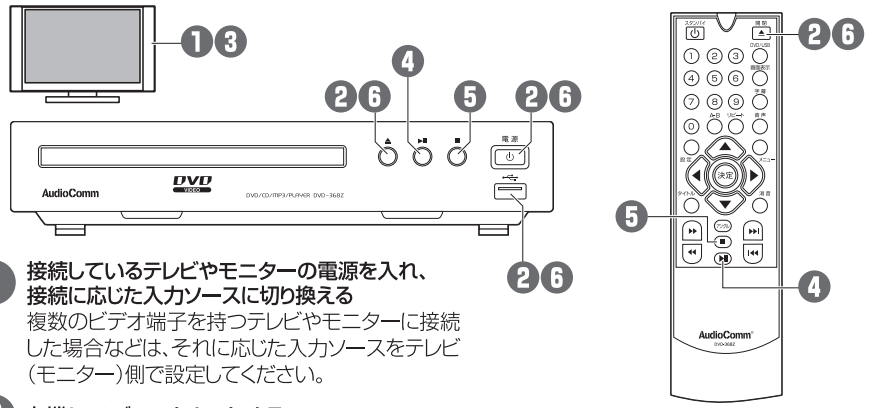


映像再生時の基本操作

DVDやUSBフラッシュメモリーに記録された映画・音楽映像・映像記録などを再生できます。

- 本機は、DVD、USBフラッシュメモリーに記録された映画や音楽映像、お客様ご自身が撮影した動画などの再生ができます。**再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP.7～P.9をご確認ください。**
- 規格以外の特殊なディスクは、再生できませんのでご注意ください。
- DTS（Digital Theater Systems）でのみ録音されているディスクは、再生できません。
- 本書内の本機画面のイラスト（マークや文字、マークや文字の場所、内容など）は、分かりやすくするため簡略化してあり、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P.12～P.14を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続（家庭用コンセントへの接続を含む）を正しく行ってから以下の操作をしてください。



1 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力ソースに切り換える

複数のビデオ端子を持つテレビやモニターに接続した場合などは、それに応じた入力ソースをテレビ（モニター）側で設定してください。

2 本機にメディアをセットする

DVDの場合

本機 電源

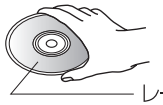
本機の電源ボタンを押して電源を入れる

「HELO」に続いて「LOAd」とディスプレイに表示され、ディスクが装着されていないときは「no d」と表示されます。

本機 リモコン 開閉

本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、DVDをセットする

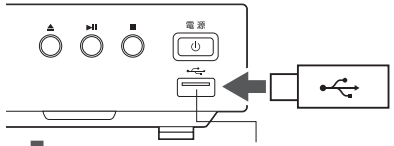
セットしたらもう一度本機またはリモコンの開閉ボタンを押して、トレイを閉めます。



レーベル面を上にしてセット

USBフラッシュメモリーの場合

本機の電源がオフの状態で本機前面のUSBフラッシュメモリー端子にUSBフラッシュメモリーを差し込む



USBフラッシュメモリー端子

本機 電源

本機の電源ボタンを押して電源を入れる

ディスプレイに「LOAd」と表示され、読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

ヒント

- DVDとUSBフラッシュメモリーを両方セットした場合は、DVD ／ USB切換ボタンを押して再生したいメディアを選んでください。

3 テレビ側で音量を調節する

本機では音量調整ができませんので、テレビ側で適切な音量に調節してください。

4 再生中に一時停止するには

本機またはリモコンの再生／一時停止ボタンを押す

本機 リモコン

再生が一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。

DVD一時停止

5 再生を停止するには

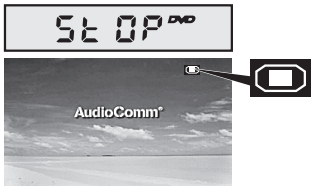
DVDの場合

本機 リモコン

本機またはリモコンの停止ボタンを押す

- 停止ボタンを1回押すと、テレビ（モニター）の画像がトップ画面になります。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、停止したときの続きから再生を始めます。

- 停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になります。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、ディスクの最初から再生を始めます。



USBフラッシュメモリーの場合

本機 リモコン

本機またはリモコンの停止ボタンを押す

停止ボタンを1回押すと完全停止になります。

6 終了するときは

DVDの場合

本機 リモコン 開閉

本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを取り出す

本機 電源

開閉ボタンをもう一度押してディスクトレイを閉じ、本機の電源ボタンを押して電源を切る

USBフラッシュメモリーの場合

本機 電源

本機の電源ボタンを押して電源を切った後、USBフラッシュメモリーを抜く

本機の電源ボタンをしっかりと押して、電源を切ってください。

ヒントとご注意

- メディアによっては、最初にメニュー画面が表示されることがあります。その場合はお好みの内容をカーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押して再生を開始してください。
- DVDの2層ディスクを再生中に、映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので故障ではありません。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。
- ディスクに汚れやキズがあると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 再生プログラムが備わっているDVDの場合は、最初のタイトルから再生が始まらない場合があります。
- 本機での再生に適していないディスクを挿入した場合は再生されません。ディスクのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- 本機ではフォルダーを認識しません。全ファイルを並列的にリスト化します。
- 携帯電話を本機やテレビの近くで使用しないでください。異音や映像にノイズが出る場合があります。
- **リモコンのスタンバイボタンを押して電源を切った場合はスタンバイモードになり、もう一度スタンバイボタンを押すと電源が入ります。長期間使わない場合は、必ず本機側で電源を切り、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。**

:

スタンバイ状態では、ディスプレイに「：」が表示され、電源ボタンの「⏻」マークが点灯します。

映像を観る

早送り・早戻し

早送り

リモコン

再生中に早送りボタンを押すと、早送りができます。

- ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早送りボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- 早送りの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。

※早送り中は音声は出ません。
※タイトルをまたぐ早送りはできません。

早送りボタンを押すごとに早送りのスピードが変わります（最大32倍）。

2X → 4X → 8X → 16X → 32X → ▶

※通常の再生に戻る

早戻し

リモコン

再生中に早戻しボタンを押すと、早戻しができます。

- ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早戻しボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- 早戻しの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。

※早戻し中は音声は出ません。
※タイトルをまたぐ早戻しはできません。

早戻しボタンを押すごとに早戻しのスピードが変わります（最大32倍）。

2X → 4X → 8X → 16X → 32X → ▶

※通常の再生に戻る

スキップ（⏭／⏮）

スキップ（⏭）

リモコン

再生中にスキップボタン（⏭）を押すと、次のチャプターに進んで再生します。

この表示のあと次のチャプターの再生が始まります。

スキップ（⏮）

リモコン

再生中にスキップボタン（⏮）を押すと、チャプターの先頭に戻って再生します。ディスクによっては、一つ前のチャプターに戻って再生するタイプもあります。

この表示のあと再生が始まります。

消音

リモコン 消音

再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声を元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。

※消音を解除すると ミュートオフ が表示されます。

リピート

リモコン リピート

再生中にリピートボタンを押すと、特定のタイトルまたはチャプターを繰り返し再生することができます。

- リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。
- リピートを解除するには画面からリピート表示が消えるまで、リピートボタンを数回押してください。

チャプター
チャプターを繰り返し再生

タイトル
タイトルを繰り返し再生

オール
ディスク内のすべてを繰り返し再生

ご注意

ディスクにより機能しない場合があります。

A-Bリピート

リモコン A-B

A-Bボタンを操作すると、現在見ているシーンの2点間を指定して、繰り返し再生することができます。**再生中に操作してください。**

- A-Bリピートを中止するには、A-Bリピート中にもう一度A-Bボタンを押します（A-Bリピートマークが消え、通常の再生に戻ります）。

❶ A-Bリピートの開始点でA-Bボタンを押す

が表示されます。

❷ 終了したいところでもう一度A-Bボタンを押す

が表示され、指定した範囲が繰り返し再生されます。

ご注意

ディスクにより機能しない場合があります。

音声

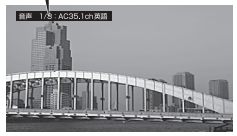
リモコン 音声

ディスクに複数の音声言語が収録されている場合、再生中に音声ボタンを押すとお好みの音声言語に切り換えることができます。

選択中の言語／含まれている音声言語数
音声種別（下記は5.1chの例）

音声　1/3：AC35.1ch英語

言語（上記は英語の場合）



ご注意

- この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されている音声言語数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています。
（音声言語数が2の場合：(2)）
- ディスクにより機能しない場合があります。
- 音声ボタンを押しても希望する言語が表示されない場合は、言語がディスクに含まれていません。
- 電源を切ると、設定メニューの「その他」>「音声設定」で選択されている言語に戻ります。
- 二重音声を含んだDVD-R／ DVD-RW（VRモード）の場合は主音声と副音声が切り換わります。

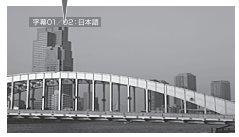
字幕

リモコン 字幕

ディスクに収録された字幕を表示・選択することができます。

- 再生中に字幕ボタンを押すたびに、字幕の内容が切り換わります。
- 字幕を消すには、字幕ボタンを数回押して「字幕なし」にします。

字幕01／02：日本語
↓
字幕02／02：英語
↓
字幕なし



字幕の種類はディスクにより異なります。
左上の表示は約6秒後に消えます。

ご注意

- ディスクによっては自動表示されるものもあり、画面から消すことはできません。
- この機能は対応ディスクのみ有効です。また、字幕言語数はディスクにより異なり、パッケージのマークに字幕内容が表示されています。
（字幕が2種類の場合：(2)）
- DVDによっては、ディスク内に収録されているメニューで字幕の設定をするものもあり、操作方法が異なります。DVDに付属の取扱説明書をご確認ください。
- 電源を切ると、設定メニューの「その他の設定」>「字幕設定」で選択されている字幕言語に戻ります。
- 選択された言語がディスクに含まれていないときは、ディスクに入っている言語が選ばれます。
- 変更した字幕（言語）が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

タイトル

リモコン タイトル

再生中または停止中にタイトルボタンを押すと、タイトルメニューを表示します。この機能はタイトルメニューが収録されているディスクのみ有効です。

●表示されたタイトルメニューを見ながら、カーソルボタン(▲／▼／▶／◀)でお好みのタイトルを選び、決定ボタンまたは再生／一時停止ボタン(本機またはリモコン)を押すと、再生が始まります。

タイトルメニュー

タイトルメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約5秒後に消えます。

ご注意

●ディスクによっては、タイトルボタンが機能しないものもあります。
●この機能は対応ディスクのみ有効です。
●DVDディスクは通常「タイトル」と呼ばれるセクションに大分割され、さらに各タイトルは「チャプター」と呼ばれるセクションに小分割されています。オーディオCDやビデオCDは「トラック」と呼ばれるセクションに分割されています。本機は「タイトル」を選んで再生することができます。

メニュー

リモコン メニュー

再生中または停止中にメニューボタンを押すと、ディスクメニューを表示します。この機能はディスクメニューが収録されているディスクのみ有効です。

●表示されたディスクメニューを見ながら、カーソルボタン(▲／▼／▶／◀)でお好みのメニューを選び、決定ボタンまたは再生／一時停止ボタンを押すと選択が確定します。
●ディスクによってはさらに次の階層へとメニューが展開しているものもあります。

メニュー

ディスクメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約5秒後に消えます。

ご注意

●ディスクによっては、機能しないものもあります。
●この機能は対応ディスクのみ有効です。

アングル

リモコン アングル

複数のカメラアングルでの映像が収録されているディスクの場合、アングルボタンを押すことで、別アングルからの映像を楽しむことができます。

アングルマークが表示されている間のみ、この機能は有効です。

ご注意

●この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されているアングル数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています。
(アングル数が2の場合：2)
●アングルボタンを押したときに、無効マーク(⃠)が表示された場合は、カメラアングルを変更することはできません。
●アングルマークが反応しないときは、設定メニューの「一般設定」>「アングルマーク」がオンになっているか確認してください。
●アングルマーク表示は約5秒後に消えます。
●ディスクによっては、アングルマークが表示されていても切り換えができなかったり、別アングル映像の収録が部分的で限定されている場合があります。

画面表示

リモコン 画面表示

再生中に画面表示ボタンを押すと、そのDVDに関する様々な情報を表示することができます。押すたびに表示内容が変わります。

タイトル再生時間 ―この部分は数秒後に消えます
TT01/02 CH 01/17
0:01:15
再生中のタイトルの再生時間を表示

↓

タイトル残り時間
TT01/02 CH 01/17
1:44:23
再生中のタイトルの残り時間を表示

↓

チャプター再生時間
TT01/02 CH 01/17
0:01:15
再生中のチャプターの再生時間を表示

↓

チャプター残り時間
TT01/02 CH 01/17
0:7:12
再生中のチャプターの残り時間を表示

↓

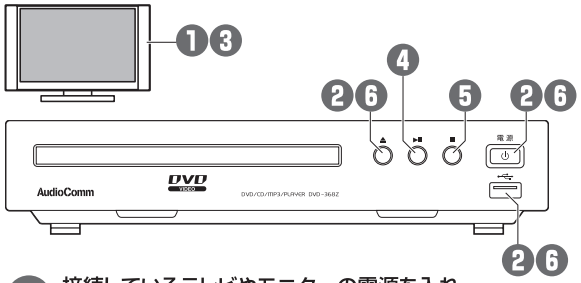
さらにもう1回押すと「表示なし」になり、数秒後に消えます。

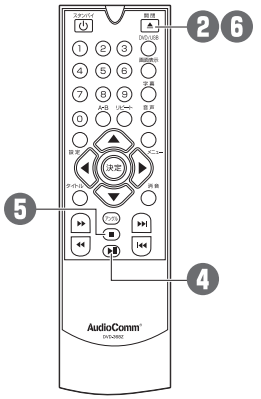
音楽／音声再生時の基本操作

オーディオCDやCD-R/RW、USBフラッシュメモリーに記録された音楽や音声などを再生できます。

●再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP.7~P.9をご確認ください。
※対応する形式であっても、すべてのファイル、USBフラッシュメモリーの動作を保証するものではありません。
●本書内の本機画面のイラスト(マークや文字、マークや文字の場所、内容など)は、分かりやすくするため簡略化してあり、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P.12~P.14を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続(家庭用コンセントへの接続を含む)を正しく行ってから以下の操作をしてください。





1 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力ソースに切り換える

複数のビデオ端子を持つテレビやモニターに接続した場合などは、それに応じた入力ソースをテレビ(モニター)側で設定してください。

2 本機にメディアをセットする

CDの場合

本機 電源

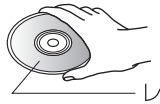
本機の電源ボタンを押して電源を入れる

「HELO」に続いて「LOAd」とディスプレイに表示され、ディスクが装着されていないときは「no d」と表示されます。

本機 ⏏ / リモコン 開閉 ⏏

本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、CDをセットする

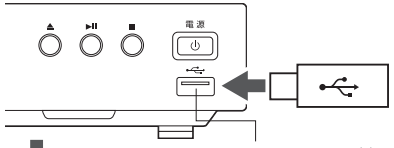
セットしたらもう一度本機またはリモコンの開閉ボタンを押して、トレイを閉めます。



レーベル面を上にしてセット

USBフラッシュメモリーの場合

本機の電源がオフの状態で本機前面のUSBフラッシュメモリー端子にUSBフラッシュメモリーを差し込む



USBフラッシュメモリー端子

本機 電源

本機の電源ボタンを押して電源を入れる

ディスプレイに「LOAd」と表示され、読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

ヒント

●CDとUSBフラッシュメモリーを両方セットした場合は、DVD ／ USB切換ボタンを押して再生したいメディアを選んでください。

3 テレビ側で音量を調節する

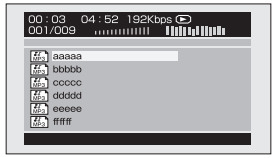
本機では音量調整ができませんので、テレビ側で適切な音量に調節してください。

次ページに続く

ヒント セットしたメディアによって、テレビ（モニター）画面の表示が異なります

オーディオCDの場合

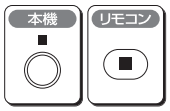
CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーの場合



ファイル名などがリスト表示されます。表示内容の詳細は次ページを参照してください。

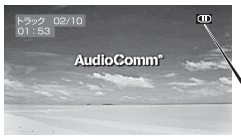
4 再生中に一時停止するには

本機またはリモコンの再生／一時停止ボタンを押す

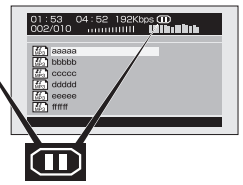


再生が一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。

オーディオCD

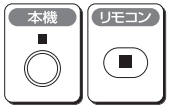


CD-R/RW・USBフラッシュメモリー



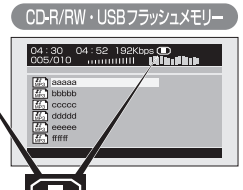
5 再生を停止するには

本機またはリモコンの停止ボタンを押す



オーディオCD

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー

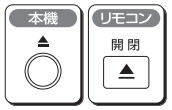


ヒント

- オーディオCDの場合、停止ボタンを1回押すと再生が止まります。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、停止したときの続きから再生を始めます。
- 停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になり、この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、ディスクの最初から再生を始めます。
- MP3の音楽ファイルなどの場合は、1回の停止操作で完全停止になります。

6 終了するときは

CDの場合



本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを取り出す

開閉ボタンをもう一度押してディスクトレイを閉じ、本機の電源ボタンを押して電源を切る

USBフラッシュメモリーの場合

本機の電源ボタンを押して電源を切った後、USBフラッシュメモリーを抜く

本機の電源ボタンをしっかりと押して電源を切ってください。

ヒントとご注意

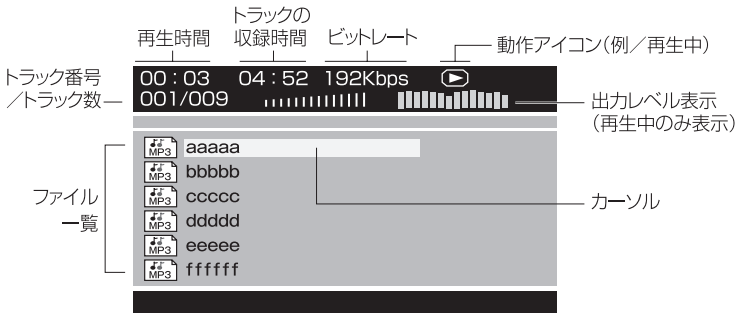
- 自動で再生が始まらない場合は、再生／一時停止ボタンを押して、再生を開始してください。
- ディスクに汚れやキズがあると、音が飛んだり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 本機ではフォルダーを認識しません。全ファイルを並列的にリスト化します。
- 本機での再生に適していないメディアを挿入した場合は再生されません。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- **リモコンのスタンバイボタンを押して電源を切った場合はスタンバイモードになり、もう一度スタンバイボタンを押すと電源が入ります。長期間使わない場合は、必ず本機側で電源を切り、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。**

スタンバイ状態では、ディスプレイに「：」が表示され、電源ボタンの「⏻」マークが点灯します。

ヒント CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーを再生するときの画面表示例

MP3の音楽ファイルを含むディスクを挿入したときには、下図のように表示されます。

- 再生、一時停止、停止の操作は、オーディオCDと同じです（P.20～P.21参照）
- 曲を選んで再生するには、カーソルボタン（▲／▼）でカーソルをファイル名に合わせて、決定ボタンを押します。



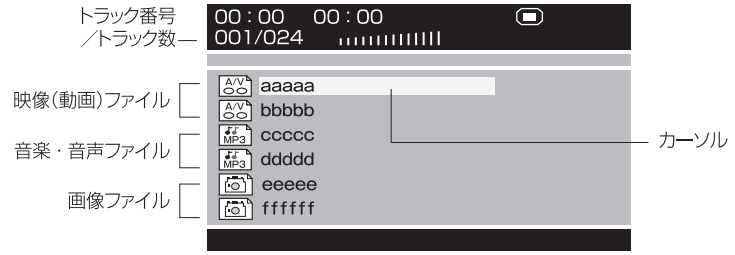
ご注意

ファイル名に日本語を使用している場合、正しく表示されません。すべて半角英数字を使用してください（ファイル名は半角英数字10文字以内）。

ヒント 同じメディア内に映像、音楽・音声、画像ファイルが混在する場合

同じメディア内に、映像や音楽・音声、画像ファイルが混在する場合、全ファイルが一覧表示されます。

- ご希望のファイルが再生されない場合は、停止ボタンを2回または1回押し、続いて表示されるファイルリスト（下記参照）からカーソルボタン（▲／▼）で希望のファイル名を選んで、決定ボタンまたは再生ボタンを押します。



ご注意

- ファイル名に日本語を使用している場合、正しく表示されません。すべて半角英数字を使用してください（ファイル名は半角英数字10文字以内）。
- ファイル名と共に表示されるアイコンは、ファイル形式によって異なる場合があります。
- ファイルの種類ごとに区分けされず、ランダムに表示される場合があります。
- 多くのファイルが存在する場合、カーソルボタン（▼）によってカーソルを最下段に移動させ、さらにカーソルボタン（▼）を押すことで、次のファイルリストを表示することができます。

音楽／音声を聴く

早送り・早戻し

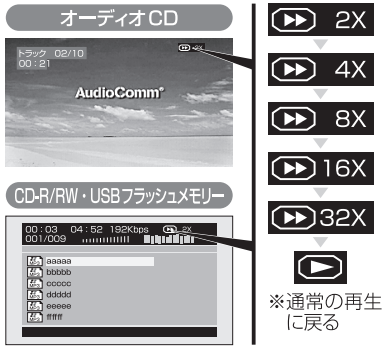
早送り

リモコン

再生中に早送りボタンを押すと、早送りができます。

- ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早送りボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- 早送りの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。

※早送り中は音声は出ません。
※トラックをまたぐ早送りはできません。



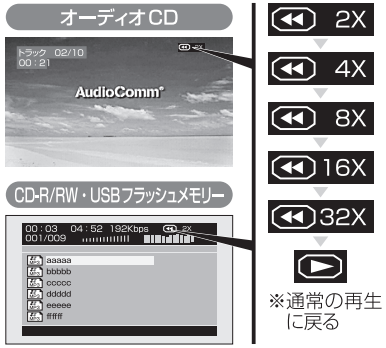
早戻し

リモコン

再生中に早戻しボタンを押すと、早戻しができます。

- ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早戻しボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- 早戻しの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。

※早戻し中は音声は出ません。
※トラックをまたぐ早戻しはできません。

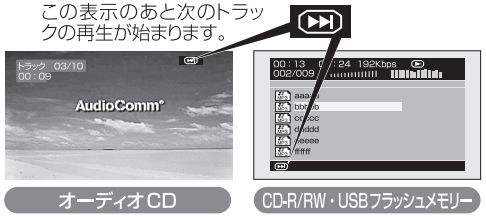


スキップ(⏭／⏮)

スキップ(⏭)

リモコン

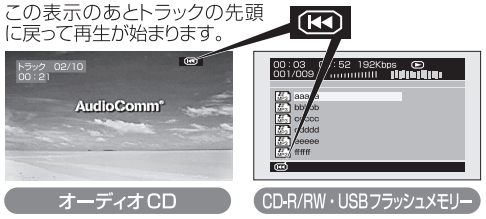
再生中にスキップボタン(⏭)を押すと、次のトラックに進んで再生します。



スキップ(⏮)

リモコン

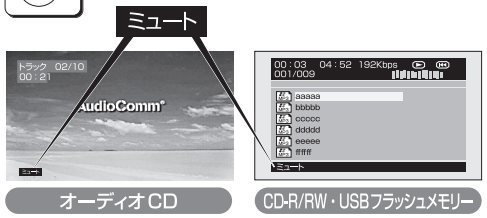
再生中にスキップボタン(⏮)を押すと、トラックの先頭に戻って再生します。ディスクによっては、一つ前のトラックに戻って再生するタイプもあります。



消音

リモコン 消音

再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声を元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。



※オーディオCDの場合は、消音を解除するとき、一時的に「ミュートオフ」と表示されます。

リピート

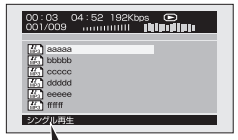
リモコン リピート

再生中または停止中にリピートボタンを押すと、特定のフォルダーまたはトラック(曲)を繰り返し再生することができます。リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。

オーディオCD

- トラック — 再生中のトラックを繰り返し再生
- オール — ディスク全体を繰り返し再生
- リピート解除(通常の再生モード)

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー



- シングルリピート — 再生中のトラックを繰り返し再生
- フォルダーリピート — メディア内の全音楽ファイルを繰り返し再生
- フォルダー再生 — メディア内の全音楽ファイルを1回だけ再生(通常の再生モード)

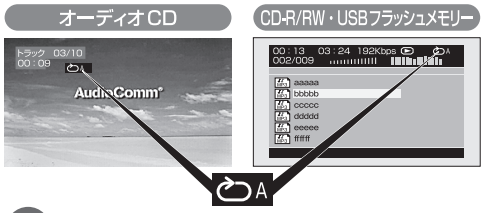
A-Bリピート

リモコン A-B

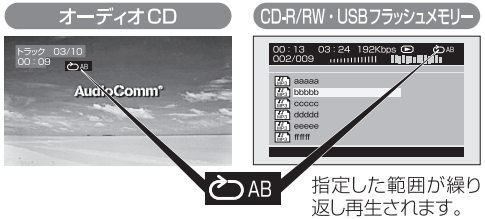
A-Bボタンを操作すると、任意の2点間を指定して、繰り返し再生することができます。**再生中に操作してください。**

- A-Bリピートを中止するには、A-Bリピート中にもう一度A-Bボタンを押します(A-Bリピートマークが消え、通常の再生に戻ります)。

1 A-Bリピートの開始点でA-Bボタンを押す



2 終了したいところでもう一度A-Bボタンを押す



ご注意

ディスクにより機能しない場合があります。

画面表示

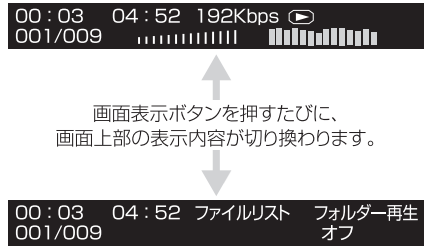
リモコン 画面表示

再生中に画面表示ボタンを押すと、そのCDに関する様々な情報を表示することができます。押すたびに表示内容が変わります。

オーディオCD

- シングル再生時間 — 再生中のトラックの再生時間を表示
- シングル残り時間 — 再生中のトラックの残り時間を表示
- トータル再生時間 — ディスク全体の再生時間を表示
- トータル残り時間 — ディスク全体の残り時間を表示
- 表示なし

CD-R/RW・USBフラッシュメモリー



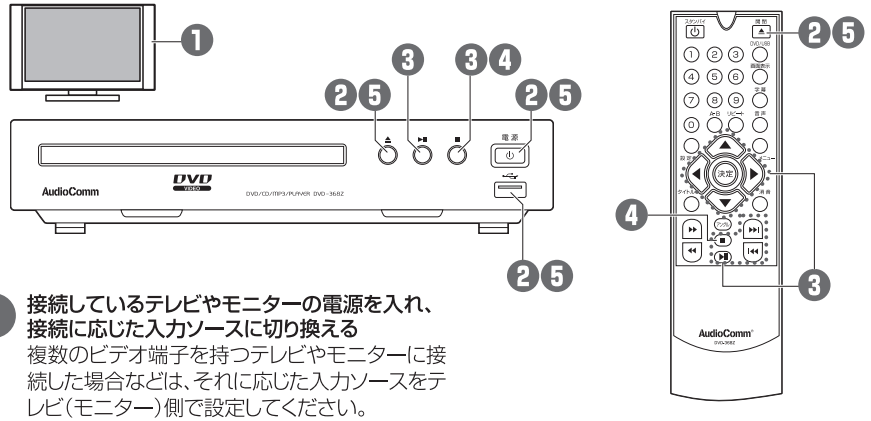
※上記の表示は約5秒後に消えます。

画像再生時の基本操作

CD-R/RWやUSBフラッシュメモリーに記録された写真を再生できます。

●再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP.7～P.9をご確認ください。
※対応する形式であっても、すべてのファイル、USBフラッシュメモリーの動作を保証するものではありません。
●本書内の本機画面のイラスト（マークや文字、マークや文字の場所、内容など）は、分かりやすくするため簡略化してあり、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P.12~P.14を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続（家庭用コンセントへの接続を含む）を正しく行ってから以下の操作をしてください。



1 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力ソースに切り換える

複数のビデオ端子を持つテレビやモニターに接続した場合などは、それに応じた入力ソースをテレビ（モニター）側で設定してください。

2 本機にメディアをセットする

CD-R/RWの場合

本機 電源

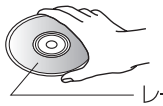
本機の電源ボタンを押して電源を入れる

「HELO」に続いて「LOAd」とディスプレイに表示され、ディスクが装着されていないときは「no d」と表示されます。

本機 リモコン 開閉

本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、CDをセットする

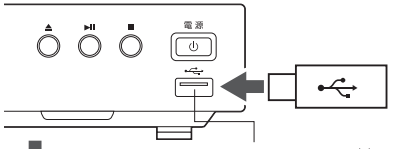
セットしたらもう一度本機またはリモコンの開閉ボタンを押して、トレイを閉めます。



レーベル面を上にしてセット

USBフラッシュメモリーの場合

本機の電源がオフの状態で本機前面のUSBフラッシュメモリー端子にUSBフラッシュメモリーを差し込む



USBフラッシュメモリー端子

本機 電源

本機の電源ボタンを押して電源を入れる

ディスプレイに「LOAd」と表示され、読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

●本機では同一メディア内の画像ファイルが自動的にスライドショー再生されます（約5秒間隔で切り換わります）。
●スライドショー再生中にリモコンのボタン操作により様々な表示切換ができます（次ページ参照）。

ヒント

複数のメディアを接続しているときや、画像以外のファイル（音楽ファイルなど）があるときは

●CD-R/RWとUSBフラッシュメモリーを両方セットした場合は、DVD ／ USB切換ボタンを押して再生したいメディアを選んでください。
●画像を選んで再生する場合は、停止ボタンを1度押し、ファイルリスト表示からカーソルボタン（▲／▼）で希望の画像ファイルを選んで、再生／一時停止ボタンを押してください（その後にもう一度、再生／一時停止ボタンを押すと、スライドショー再生を一時停止することができます）。

3 再生時の様々な表示切換

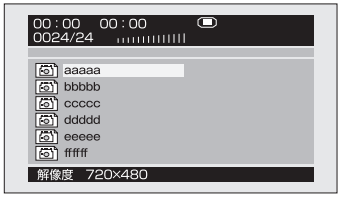
⏭	次の画像へ	▲	表示中の画像を上下反転
⏮	前の画像へ	▼	表示中の画像を左右反転
⏯	スライドショーを一時停止（もう一度押すと再開）	◀	表示中の画像を反時計回りに90°回転
■	スライドショーを停止（ファイルリストを表示）	▶	表示中の画像を時計回りに90°回転

4 再生を停止するには停止ボタンを押す

本機 ■ リモコン ■

ファイルリスト表示になります。

カーソルボタン（▲／▼）で画像ファイル名を選び、再生ボタンまたは決定ボタンを押すと、その画像からスライドショーを再開します。



ファイルリスト表示

5 終了するときは

CD-R/RWの場合

本機 リモコン 開閉

本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを取り出す

本機 電源

開閉ボタンをもう一度押してディスクトレイを閉じ、本機の電源ボタンを押して電源を切る

USBフラッシュメモリーの場合

本機 電源

本機の電源ボタンを押して電源を切った後、USBフラッシュメモリーを抜く

本機の電源ボタンをしっかりと押して電源を切ってください。

ヒントとご注意

●画像が完全に表示されるまで、ボタン操作は無効になります。
●自動で再生が始まらない場合は、再生／一時停止ボタンを押して、再生を開始してください。
●ディスクに汚れやキズがあると、音が飛んだり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
●本機ではフォルダーを認識しません。全ファイルを並列的にリスト化します。
●本機での再生に適していないメディアを挿入した場合は再生されません。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
●**リモコンのスタンバイボタンを押して電源を切った場合はスタンバイモードになり、もう一度スタンバイボタンを押すと電源が入ります。長期間使わない場合は、必ず本機側で電源を切り、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。**

：

スタンバイ状態では、ディスプレイに「：」が表示され、電源ボタンの「 」マークが点灯します。

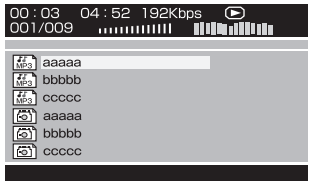
画像再生時の基本操作（つづき）

ヒント **音楽ファイルを再生しながら、画像を見る**

同一メディア内の画像と音楽を同時に再生できます。

❶ 音楽ファイルを再生する

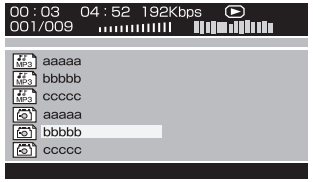
「音楽／音声を聴く」（P.20～P.24）を参照して、好きな曲を選んでください。



音楽ファイルを選択して再生

❷ 同一メディア内の画像ファイルを再生する

ファイルリスト内の画像ファイルをカーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で選び、決定ボタンまた再生ボタンを押すと、スライドショー再生がはじまります。



画像ファイルを選択して再生

- ●同時に再生できるのは、同一のメディア内のみです（異なるメディアの音楽ファイルと画像ファイルを同時に再生することはできません）。
- ●画像ファイルの再生を開始すると、ボタン操作は画像に対する操作となります。前ページのステップ3～4を参照して操作をしてください。
- ●画像ファイルのスライドショー再生中は音楽ファイルを操作することはできません。停止ボタンを1回押してファイルリスト表示にすると、音楽ファイルの選択や再生ができます。
- ●音楽・画像のそれぞれにリピートモードを設定できます。

セットアップメニューの概要

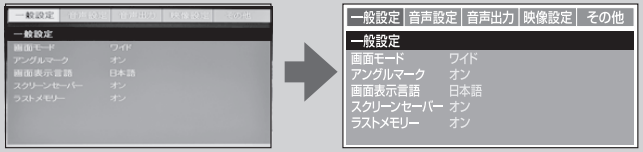
セットアップメニューの操作はすべてリモコンで行います。

本機はお買上げのままで再生できますが、必要に応じて、映像・音声の出力方式やDVD、AUDIO CD、MP3の再生に関する様々なオプションの設定ができます。

ご注意

- ●セットアップメニューの設定はディスクやUSBフラッシュメモリーを装着しない状態で行ってください。セットした状態では、一部の項目の設定ができません。
- ●再生中にセットアップメニューの設定を行った場合、設定終了後はトップ画面に戻らず、自動的に再生が再開されます。
- ●ディスクによって記録されている内容が異なりますので、設定できない項目があります。

セットアップメニューの画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため、右図のように簡略化した図版で示しています。



実際の表示例　　この取扱説明書での表示例

設定一覧

【一般設定】	掲載ページ	概　要	設定可能項目
画面モード	P.30	画面の表示モードを設定します。	・4：3パンスキャン ・4：3レターボックス　・ワイド
アングルマーク	P.31	アングルマーク表示のオン／オフを設定します。	・オン　・オフ
画面表示言語	P.31	セットアップメニューの表示言語を設定します。	・English（英語） ・日本語
スクリーンセーバー	P.32	スクリーンセーバーのオン／オフを設定します。	・オン　・オフ
ラストメモリー	P.32	ラストメモリーのオン／オフを設定します。	・オン　・オフ

【音声設定】	掲載ページ	概　要	設定可能項目
スピーカー設定	P.33	ミックスダウンの設定をします。	・LT／RT ・ステレオ

【音声出力】	掲載ページ	概　要	設定可能項目
デュアルモノ	P.33	本機から出力する音声を設定します。	・ステレオ　・左モノラル ・右モノラル・ミックスモノラル
ダイナミックレンジ	P.34	音声の再生音域を調節します。	※調整つまみで9段階調節

【映像設定】	掲載ページ	概　要	設定可能項目
シャープネス	P.34	映像のシャープさを調節します。	・高　・中　・低
明るさ	P.35	映像の明るさを調節します。	※−20～+20まで 41段階調節
コントラスト	P.35	映像のコントラストを調節します。	※−16～+16まで 33段階調節

次ページに続く

セットアップメニューの概要(つづき)　セットアップメニューの操作はすべてリモコンで行います。

【その他】	掲載ページ	概　要	設定可能項目
テレビ信号方式	P.36	テレビの信号方式を表示します。 ※この項目は変更できません。	・NTSC
音声設定	P.36	音声の言語を設定します。	・英語　・日本語
字幕言語	P.37	字幕の表示言語を設定します。	・英語　・日本語
メニュー言語	P.37	メニューの表示言語を設定します。	・英語　・日本語
視聴制限	P.38	DVDソフトの視聴制限レベルを設定します。	・1 KID SAF　・2 G ・3 PG　・4 PG 13 ・5 PGR　・6 R ・7 NC17　・8 ADULT
パスワード	P.39	パスワードの設定／変更を行います。	※パスワード入力画面へ
初期化	P.40	本機の設定内容を破棄し、工場出荷時の状態に戻します。	

ヒント セットアップメニューの設定途中で設定ボタンを押すと、設定操作を終了することができます。

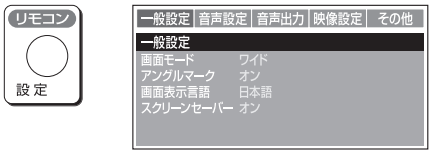
設定

画面モードの設定方法

画面の表示モードを設定します。

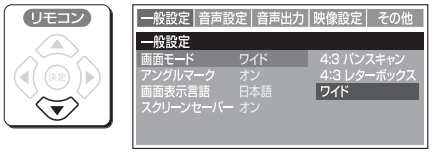
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



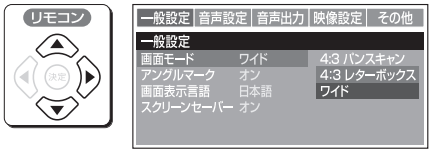
2 カーソルボタン(▼)を1回押す

【画面モード】が選ばれている状態になります。



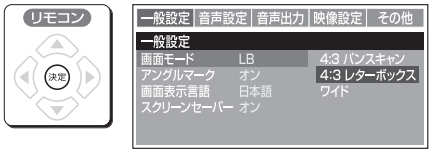
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

4:3パンスキャン　標準サイズのテレビ

16:9の映像は、左右が切れた映像で表示します(パンスキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します)。

4:3レターボックス　標準サイズのテレビ

16:9の映像は、上下に帯のある映像で表示します。

ワイド　16:9のワイドテレビ

ディスプレイ全体に映像を映します。

※通常のDVDの画像比率は16:9です。
※地デジ対応テレビ画像の比率は16:9です。

設定

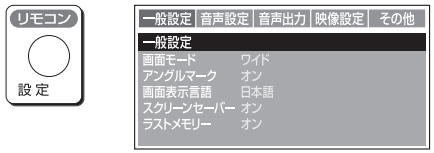
ヒント ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。また操作を中止してトップ画面に戻るには設定ボタンを押します。

アングルマークの設定方法

アングルマーク表示のオン／オフを設定します。

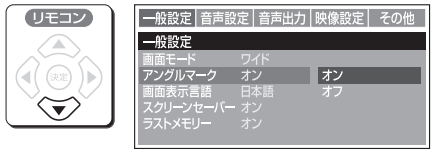
❶ 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



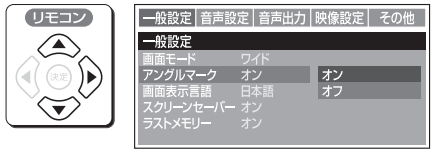
❷ カーソルボタン(▼)を2回押す

【アングルマーク】が選ばれている状態になります。



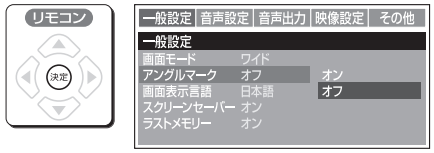
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

❹ 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

❺ 設定ボタンを押して終了する

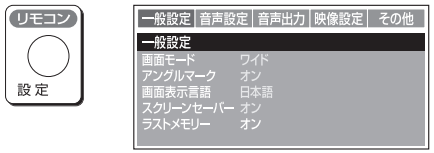
トップ画面に戻ります。

画面表示言語の設定方法

設定画面の表示言語を選択できます。

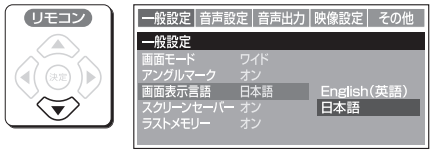
❶ 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



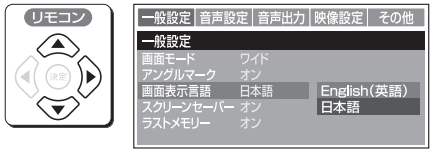
❷ カーソルボタン(▼)を3回押す

【画面表示言語】が選ばれている状態になります。



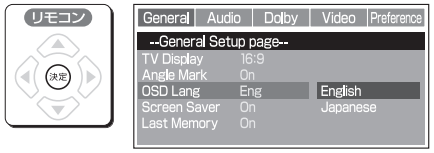
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

❹ 決定ボタンを押す



新しい設定が確定し、表示が英語に変わります。

❺ 設定ボタンを押して終了する

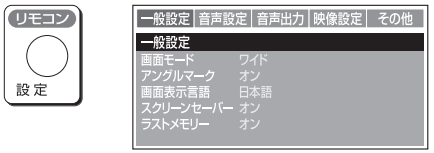
トップ画面に戻ります。

スクリーンセーバーの設定方法

スクリーンセーバーのオン／オフを設定します。

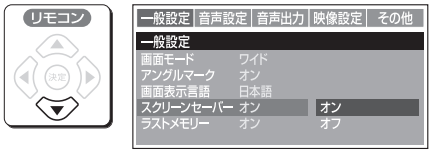
❶ 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



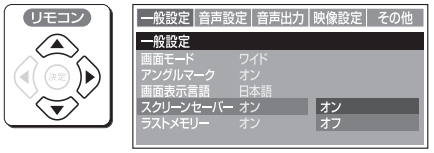
❷ カーソルボタン(▼)を4回押す

【スクリーンセーバー】が選ばれている状態になります。



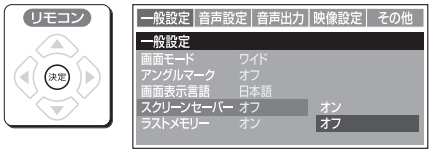
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

❹ 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

❺ 設定ボタンを押して終了する

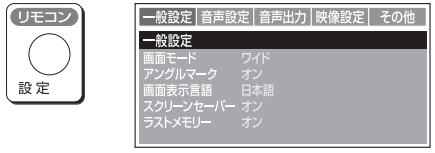
トップ画面に戻ります。

ラストメモリー(レジューム機能)の設定方法

ラストメモリーをオンにしておくと、前回再生を停止した位置を記憶し、再度再生するとその続きから再生できます(ただし、ディスクによって停止ボタンを2回続けて押した場合は無効になることがあります)。

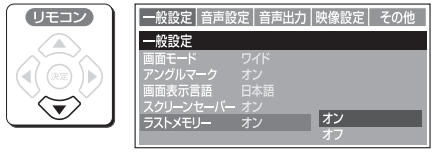
❶ 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



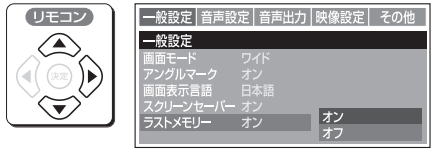
❷ カーソルボタン(▼)を5回押す

【ラストメモリー】が選ばれている状態になります。



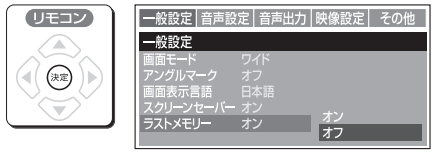
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

❹ 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

❺ 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

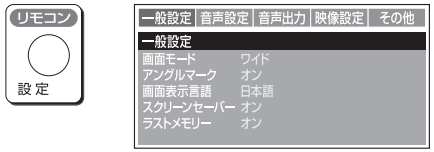
設定

ヒント ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。また操作を中止してトップ画面に戻るには設定ボタンを押します。

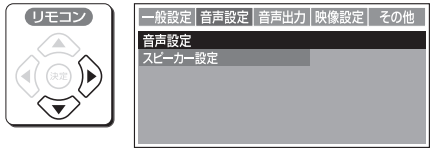
スピーカー設定の操作方法

ダウンミックスの設定ができます。
※ダウンミックスとは、サラウンドの音源を2チャンネルステレオで聴く場合など、音声をオリジナルのフォーマットで再生できない場合に、制作者の意図した再生をオリジナルより少ないチャンネル数で行うことです。

❶ 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。



❷ カーソルボタン(▶)を1回押した後 カーソルボタン(▼)を1回押す
【スピーカー設定】が選ばれている状態になります。



緑色の帯で選択されている項目が表示されます。

❸ カーソルボタン(▶)を2回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ

カーソルボタン(▶)を2回押すと選択候補内の茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

項目	内容
LT/RT	左チャンネル／右チャンネルのみをモノラル再生。
ステレオ	左右のチャンネルでステレオ再生。

❹ 決定ボタンを押す

新しい設定が確定します。

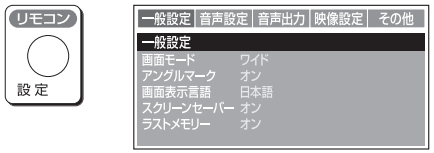
❺ 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

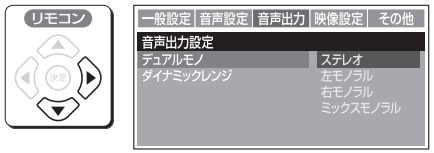
デュアルモノの設定方法

デュアルモノの設定ができます。

❶ 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。

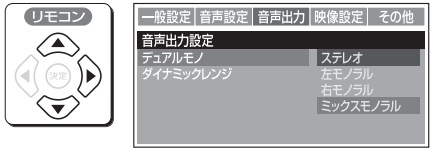


❷ カーソルボタン(▶)を2回押した後 カーソルボタン(▼)を1回押す
【デュアルモノ】が選ばれている状態になります。



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

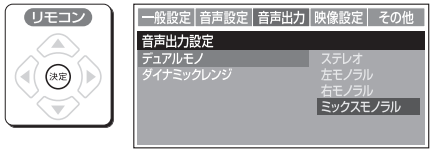
❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を1回押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間もそれまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

項目	内容
ステレオ	ステレオ出力
左モノラル	L音声をモノラル出力
右モノラル	R音声をモノラル出力
ミックスモノラル	L/Rの音声をミックスしてモノラル出力

❹ 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

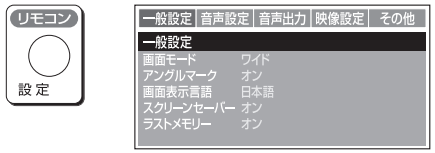
❺ 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

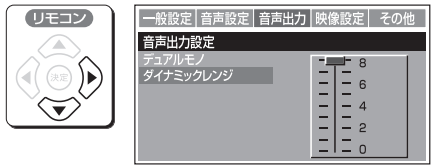
ダイナミックレンジの設定方法

ダイナミックレンジとは、ひずみや雑音などなしに再生できる範囲のことで、値が大きいほど広い音域の再生ができます。

❶ 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。

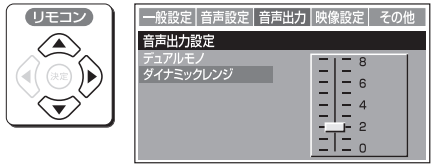


❷ カーソルボタン(▶)を2回押した後 カーソルボタン(▼)を2回押す
【ダイナミックレンジ】が選ばれている状態になります。



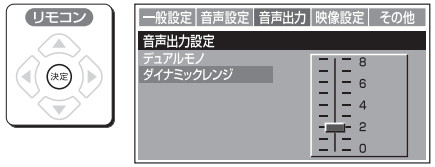
調節用の目盛りが表示されます。

❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)でダイナミックレンジの目盛りを調節する



カーソルボタン(▶)を1回押すと茶色のスライダー表示が黄色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすとスライダーが動きます(0から8まで9段階で調節できます)。
※初期設定は8になっています。

❹ 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

❺ 設定ボタンを押して終了する

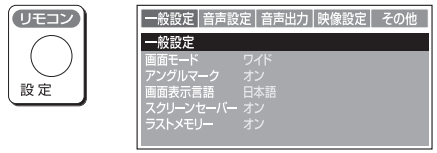
トップ画面に戻ります。

ご注意 ステップ3の後に設定ボタンを押して操作を中止した場合、変更後の設定が適用されます。

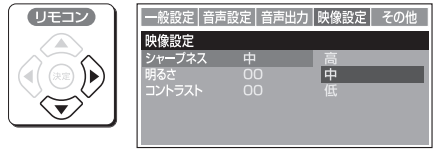
シャープネスの設定方法

映像のシャープネス(輪郭の明確さ)を調節します。

❶ 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。

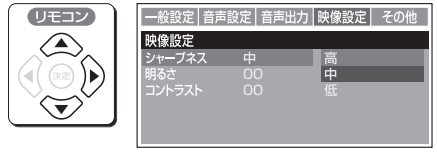


❷ カーソルボタン(▶)を3回押した後 カーソルボタン(▼)を1回押す
【シャープネス】が選ばれている状態になります。



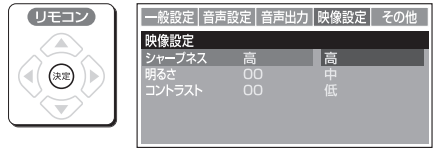
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を1回押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

❹ 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

❺ 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

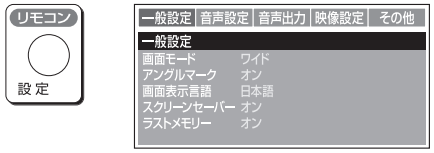
設定

ヒント ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。また操作を中止してトップ画面に戻るには設定ボタンを押します。

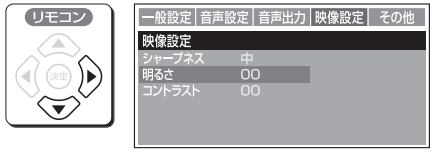
明るさの設定方法

映像の明るさを調節します。+20～−20までの41段階で調節できます。

1 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。



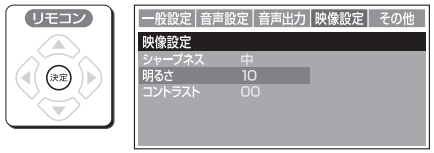
2 カーソルボタン(▶)を3回押した後 カーソルボタン(▼)を2回押す
【明るさ】が選ばれている状態になります。



3 カーソルボタン(▶)を1回押した後、さらにカーソルボタン(◀／▶)を押して明るさを調節する

カーソルボタン(▶)を押すたびに明るくなり(数字が大きくなります)、カーソルボタン(◀)を押すたびに暗くなります(数字が減ります)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

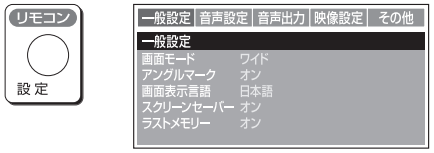
トップ画面に戻ります。

ご注意 ●ステップ3の操作中は、カーソルボタン(◀)を押してもひとつ前の画面には戻りません。
●ステップ3で数字を変更した後に、設定ボタンを押して操作を中止した場合、変更後の設定が適用されます。

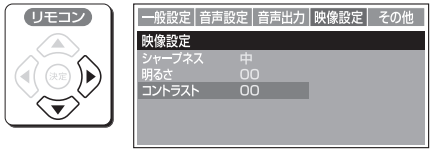
コントラストの設定方法

映像のコントラストを調節します。+16～−16までの33段階で調節できます。

1 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。



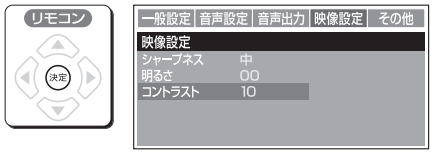
2 カーソルボタン(▶)を3回押した後 カーソルボタン(▼)を3回押す
【コントラスト】が選ばれている状態になります。



3 カーソルボタン(▶)を1回押した後、さらにカーソルボタン(◀／▶)を押してコントラストを調節する

カーソルボタン(▶)を押すたびにコントラストが強くなり(数字が大きくなります)、カーソルボタン(◀)を押すたびに弱くなります(数字が減ります)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

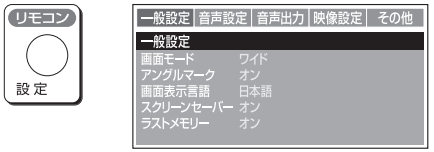
トップ画面に戻ります。

ご注意 ●ステップ3の操作中は、カーソルボタン(◀)を押してもひとつ前の画面には戻りません。
●ステップ3で数字を変更した後に、設定ボタンを押して操作を中止した場合、変更後の設定が適用されます。

テレビ信号方式の表示方法

テレビの信号方式を表示します。

1 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を1回押す
【テレビ信号方式】が選ばれている状態になります。

設定(NTSC)が茶色の帯で表示されます。

3 設定ボタンを終了する

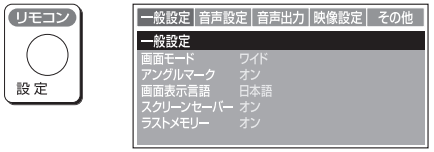
トップ画面に戻ります。

ご注意 ●日本のテレビ方式はNTSCです。
●本機は日本向け仕様のため、設定の変更はできません。

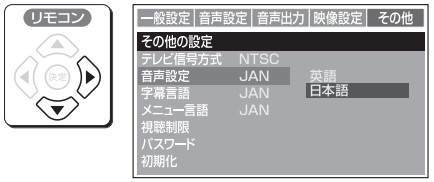
音声設定の操作方法

音声言語を設定します。

1 設定ボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。

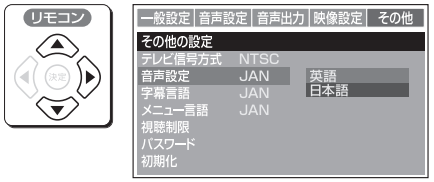


2 カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を2回押す
【音声設定】が選ばれている状態になります。



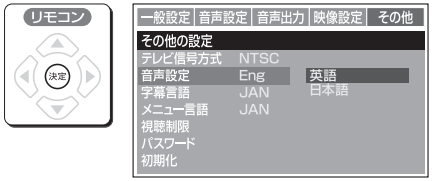
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

ご注意 ●一部のディスクでは音声言語の設定が利用できません。DVDに収録されているメニュー画面で設定してください。
●再生するディスクが対応していない言語は設定しても再生されません。

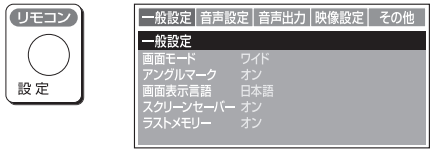
ヒント ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。また操作を中止してトップ画面に戻るには設定ボタンを押します。

字幕言語の設定方法

字幕の言語を設定します。

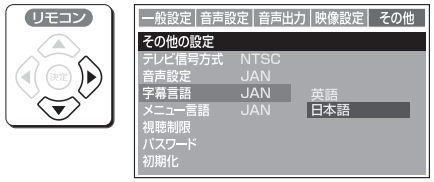
❶ 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



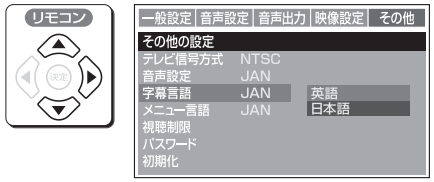
❷ カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を3回押す

【字幕言語】が選ばれている状態になります。



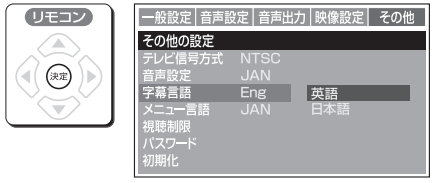
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

❹ 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

❺ 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

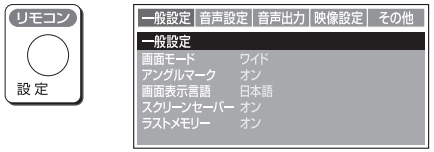
ご注意
- ●一部のディスクでは字幕言語の設定が利用できません。DVDに収録されているメニュー画面で設定してください。
- ●再生するディスクが対応していない字幕言語は設定しても表示されません。

メニュー言語の設定方法

メニューの表示言語を設定します。

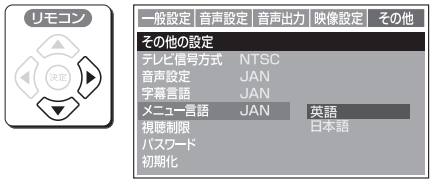
❶ 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



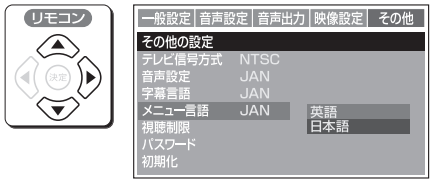
❷ カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を4回押す

【メニュー言語】が選ばれている状態になります。



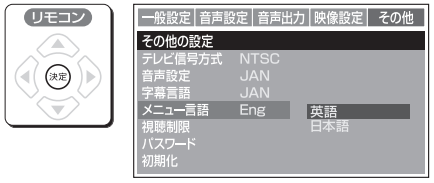
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

❹ 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

❺ 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

ご注意
- ●再生するディスクが対応していない言語は設定しても表示されません。

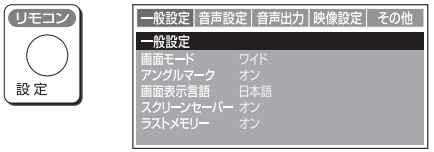
視聴制限の設定方法

ディスクに応じて視聴制限をかけることができます。

※この機能は適用ディスクのみ対応します。

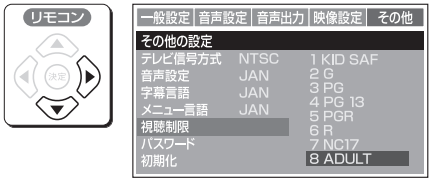
❶ 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



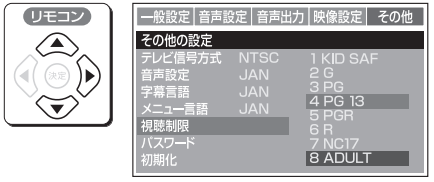
❷ カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を5回押す

【視聴制限】が選ばれている状態になります。



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

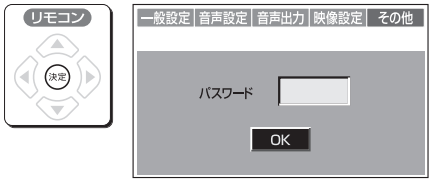
❸ カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲／▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲／▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

項目	内容
1 KID SAF	子供向け
2 G	制限なし
3 PG	親と一緒に子供視聴可能
4 PG 13	親と一緒に13歳以下視聴可能
5 PGR	成人と一緒に視聴可能
6 R	親、成人と一緒に17歳以下視聴可能
7 NC17	17歳以下は視聴不可
8 ADULT	成人向け

❹ 決定ボタンを押す



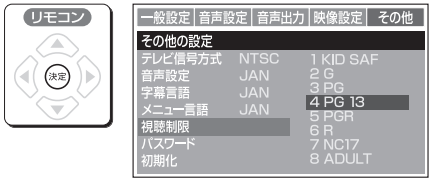
パスワードの入力画面が表示されます。

❺ 数字ボタンを使って 4ケタのパスワードを入力する

入力するごとに「×」が表示され、4ケタ目のパスワードを入力すると、「×」がすべて消えます。正しいパスワードが設定されると、パスワードの入力画面と「OK」の表示が下記のように変わります。

ヒント
- ●工場出荷時(初期設定)のパスワードは「5168」です。
- ●パスワードを変更したい場合は、次項の「パスワードの設定方法」を参照してください。
- ●誤って数字を入力した場合は、設定ボタンかカーソルボタン(▼)を押してトップ画面に戻り、ステップ1からやり直してください。

❻ 決定ボタンを押す



設定変更を確認してください。

❼ 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

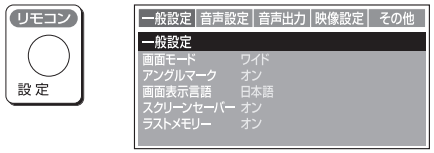
ヒント
- ●視聴制限とは、小さなお子様や低年齢層に対する不適切なDVDの再生を制限するものです。ディスクによって子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴制限レベルが設定されているものがあります。本機は子供が設定を変えることのないよう、パスワードで設定を保護することができます。
- ●【1 KID SAF】が最も制限が厳しく、子供向けDVDのみ視聴できます。【8 ADULT】は制限が緩くなります。

パスワードの設定方法

パスワードを変更することができます。

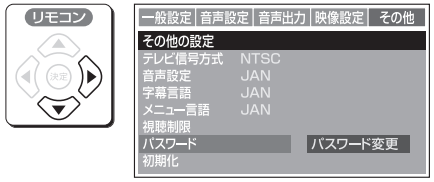
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

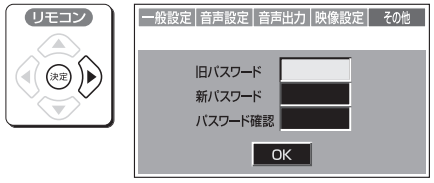


2 カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を6回押す

【パスワード】が選ばれている状態になります。



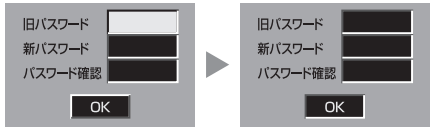
3 カーソルボタン(▶)を1回押し、決定ボタンを押す



パスワードの設定画面が表示されます。

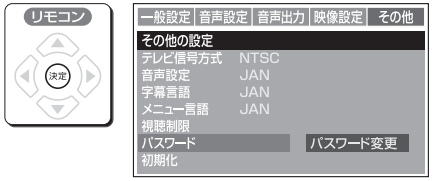
4 数字ボタンを使って「旧パスワード」、「新パスワード」、「パスワード確認」にそれぞれ4ケタのパスワードを入力する

入力するごとに「×」が表示され、4ケタ目のパスワードを入力すると「×」がすべて消え、次の入力欄に移動します(「旧パスワード」に間違った数字を入力した場合は移動しません)。「パスワード確認」には「新パスワード」と同じ数字を入力してください。すべてが正しく入力されると、表示が下記のように変わります。



ヒント
- ●工場出荷時(初期設定)のパスワードは「5168」です。
- ●誤って数字を入力した場合は、カーソルボタン(▼)を数回押してステップ3に戻るか、設定ボタンを押してトップ画面に戻り、やり直してください。

5 決定ボタンを押す



6 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

ご注意

- ●パスワードを忘れないようにご注意ください。
- ●万一忘れてしまったときのために、メモしておくことをお勧めします。
- ●設定したパスワードが視聴制限の設定で機能するかどうか確認してください。

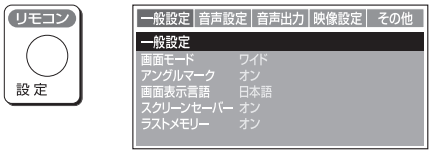
変更日	パスワード			

初期化の設定方法

本機を工場出荷時の状態に戻します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を7回押す

【初期化】が選ばれている状態になります。

「リセット」の項目が茶色の帯で表示されます。

3 カーソルボタン(▶)を1回押して「リセット」の色帯を緑色に変え 決定ボタンを押す

初期化が実行され、トップ画面に戻ります。

ご注意

初期化を行うと、それまでにお客様が設定した内容がすべて失われますので、十分ご注意ください。

ヒント ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。また操作を中止してトップ画面に戻るには設定ボタンを押します。

故障かなと思ったら

電源に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
電源が入らない	・電源プラグがはずれていませんか? または断線していませんか? ・リモコンの乾電池が消耗していませんか? ・リモコンの乾電池が正しく入っていますか?	→差し込み具合や電源コードを再確認する →新しい乾電池と交換する →乾電池の⊕⊖の向きを確認する

再生画質・音質に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
画像が出ない	・接続機器の電源は入っていますか? ・配線は正しく接続されていますか? また、断線したりはずれてはいませんか? 本機とテレビは直接接続されていますか? ・画像の出ないディスクが入っていませんか? ・テレビの入力切換は正しいですか?	→接続機器の電源を確認する →接続を再確認する →再生できるディスク以外のものが入っていないか確認する →正しく切り換える
画面が暗い	・明るさは正しく調整されていますか? ・コントラストは正しく調整されていますか? ・温度が5℃以下になっていませんか? ・他のAV機器との接続を間違えていませんか?	→正しく調整する →正しく調整する →正常温度になるまで使わない →接続を確認する (AV機器の取扱説明書を参考にする)
映像がゆれる	・電源を1箇所から集中して接続していませんか?	→各機器の電源接続を分散する
映像にノイズやゆがみ・乱れが出る	・ディスクが汚れていたり、傷がありませんか? ・携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用していませんか?	→ディスクを確認する →本機から離して使用する
画面の縦方向が縮小している	・セットアップメニューの画面モードの設定が4：3になっていませんか?	→ワイドに設定変更する(P.30参照)
再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある	以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 ・元の画像にブロックノイズがすでにある状態での録画の場合 ・画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ・ディスク上の物理エラーによる場合	
字幕が表示されない	・字幕の入ったディスクのみ表示します。 ・セットアップメニューの字幕言語の設定が「オフ」になっていませんか?(P.37)	→字幕が入っているかどうか確認する →「オフ」以外の設定に変更する
雑音が聞こえる	・近くで携帯電話を使用していませんか?	→携帯電話を本機から離して使用する

操作に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
DVDやCDの再生ができない	・記録されているフォーマットが未対応、または本機で再生できるリージョン番号でないディスクではありませんか? ・ディスクに汚れやキズが付いていませんか?	→ディスクを確認する →P.45を参考にディスクをクリーニングする、または交換する
USBフラッシュメモリーを再生できない	・DVDやCDの再生が選択されていませんか? ・USBフラッシュメモリーが壊れていませんか?	→DVD／USB切換ボタンでメディアを切り換えてください →別のUSBフラッシュメモリーで試してみてください
市販のDVDを再生しているときに言語ボタンを押しているのに、音声が日本語に切り換わらない	・DVDビデオに日本語の音声が入っていますか? ・言語ボタンでの切換はディスクによっては制限されている場合があります。	→ディスクを確認する →DVD側のメニュー画面から、音声を切り換える —
各ボタン操作ができない	・特定の操作を禁止しているディスクもあります。 ・落雷や静電気の影響により、本機が正常に動作しないことがあります。	— →本機の電源を一度切／入する または電源を切って、リモコンの乾電池を取り外し、もう一度入れる
リモコン操作ができない	・リモコンに乾電池は入っていますか? ・リモコンの乾電池が消耗していませんか? ・本機の信号受信部に向けて操作していますか? ・信号受信部に強い光が当たっていませんか? ・リモコンと信号受信部が遠すぎませんか? ・リモコンと信号受信部の間に障害物がありませんか? ・乾電池が正しく入っていますか?	→乾電池を入れる →乾電池を新しいものと交換する →信号受信部に向けて操作する →光が当たらないよう向きを変える →約4m以内、上下左右30°以内のところで操作する →障害物を取り除く →乾電池の⊕⊖の向きを確認する
音が出ない(接続機器の音が出ない)	・「消音」したままになっていませんか? ・接続を間違えていませんか? ・接続先の機器の音量が最小になっていませんか? ・接続先の機器の電源は入っていますか? ・接続先の機器にヘッドホンが差し込まれていませんか? ・オーディオ出力機器の設定が間違っていませんか?	→消音を解除する →接続を再確認する →音量レベルを上げる →電源を確認して入れる(ONにする) →ヘッドホンを抜く →設定を合わせる

リファレンス

故障かなと思ったら(つづき)

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
再生できない またはすぐに停止する	・寒い所から急に暖かい所に持ち込むと結露により再生できない場合があります。 ・ディスクが汚れていませんか? ・記録済みのディスクが入っていませんか? ・ディスクが正しくセットされていますか? ・視聴制限の設定が有効になっていませんか? ・2層ディスクが1層から2層に切り換わったような感じではありませんか? ・原因がはっきりしない場合	→1～2時間放置する →P.45を参考にディスクをクリーニングする →再生できるディスクかどうか、確認する →ディスクを正しくセットする →視聴制限の設定で規制レベルを変更する →映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません →1.停止ボタンを押してから再生ボタンを押してみる 2.本機の電源を切り、電源プラグを家庭用コンセントから抜き、再度差し込んでから再生してみる
設定したパスワードを忘れた	—	→セットアップメニューの「初期化」(P.40)を行った後、「パスワード」を再設定する(P.39)
すべての設定を買い上げ時に戻したい	—	→セットアップメニューの「初期化」を実行する(P.40)

用語解説

用　語	説　明
CPRM	コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。詳しくはP.7の「CPRMとは?」の項を参照してください。
DTS	Digital Theater Systemの略です。デジタルシアターシステムズ社が開発したデジタル音声システムです。音声6chを使って、正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で、映画館のような音声が楽しめます。ドルビーデジタルとは異なるサラウンドシステムです。
JPEG	Joint Photographic Expert Groupの略で、ジェーペグと読みます。静止画像などを圧縮、伸長させる機能を持ったアルゴリズムです。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの画像／音声はこの方法で記録されています。
MP3	音楽・音声のためのデジタル圧縮ファイルフォーマットのひとつ。データを極端な音質の劣化を伴わずに圧縮でき、パソコンをはじめ、CDプレーヤーDVDプレーヤーでの再生も容易なことから現在の主流フォーマットのひとつになっています。
PCM	Pulse Code Modulation(パルス符号変調)。音声などのアナログ信号をパルス列に変換するパルス変調の一つ。
RCA端子・コード	中心部に金属のピンがあり、周囲に切込みのはいった金属がついている、AV機器接続用の端子・コード。本機に付属しているAV接続コードはステレオ音声左(白)、ステレオ音声右(赤)、映像(黄色)の各端子を、本機と外部機器、それぞれ同色の端子と接続すれば使うことができます。
VRモード	P.7の「ビデオモード、VRモードとは?」の項を参照してください。
アングル	同じ映像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。ディスク側にこのデータが含まれていないとこの機能は使えません。
視聴制限 (ペアレンタルロック)	DVDディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
スクリーンセーバー	テレビやモニターの焼き付けを防ぐために、一定時間静止画像が続くと、自動的に簡単な動画(またはアニメーションなど)が起動する機能です。
セットアップメニュー	本機でディスクを再生して楽しむための、映像・音声に関する出力設定や視聴制限(ペアレンタルレベル)などを設定します。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画などが入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック(ファイル)	音楽用CDの各曲やJPEGデータの各画像をトラック(ファイル)といいます。
パンスキャン	4:3のテレビと本機を接続し、ワイド(16:9)ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。
リージョンコード (再生可能地域番号)	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。

主な仕様

電源	本体：AC100V 50/60Hz 6W リモコン：単４形乾電池×2本
信号方式	NTSC
接続端子	RCA出力ジャック(映像／音声)、USBフラッシュメモリー端子
使用動作環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
外形寸法	幅225×高さ46×奥行184mm(突起物を除く)
質量	約700g
付属品	リモコン、動作確認用単４形乾電池(２本)、AV接続コード(RCA)、取扱説明書(保証書付)

ビデオ信号方式	NTSC
ビデオフォーマット	MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4
オーディオフォーマット	MPG 1、LAYER 1、LAYER 2、LAYER 3
アナログ音声出力電圧	1～2V

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れのしかた

お手入れの際には必ず電源の配線をはずしてください。感電の原因となることがあります。

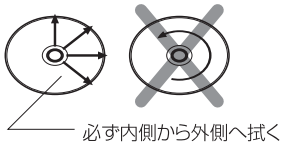
キャビネットの清掃

- キャビネットやパネル操作面が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときには、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんを使う時は、その注意書きに従ってください。
- 液晶画面は乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。濡れた布などは、内部に水が入り故障の原因となりますので使わないでください。

コンパクトディスクのお手入れ

本機にセットする前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。必ず内側から外側に放射状にふいてください。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電気防止剤は絶対に使用しないでください。
- キャビネットやパネル操作面をシンナーやベンジン、アルコールなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 他の洗剤などをお使いになるときは、その注意書に従ってください。



USBフラッシュメモリーのお手入れ・保管について

- USBフラッシュメモリーの接続部に指紋やホコリなどの汚れが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このような時は、柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品、及びスプレー静電気防止剤は絶対に使用しないでください。
- 以下のような場所での保管は避け、キャップカバーなどが付属している場合は必ずカバーを付けて保管してください。
  ・高温の場所 ・直射日光の当たる場所 ・極端に温度の低い場所
  ・浴室や加湿器の近くなど湿度の高い場所 ・ホコリや砂塵など浮遊物が多い場所
- ご使用に当たっては、USBフラッシュメモリーに付属する取扱説明書や注意書きも合わせてご確認ください。

よくあるご質問

Q 病院で使えますか？

A 本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。
病院の指示に従ってください。

Q 海外でも使用できますか？

A 本機をお使いいただけるのは、日本国内のみです。

Q 海外で買ったDVDビデオを再生できますか？

A リージョンコードが「2」を含むか「ALL」で、映像方式がNTSCであれば、再生できます。
ディスクのジャケットをご確認ください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。